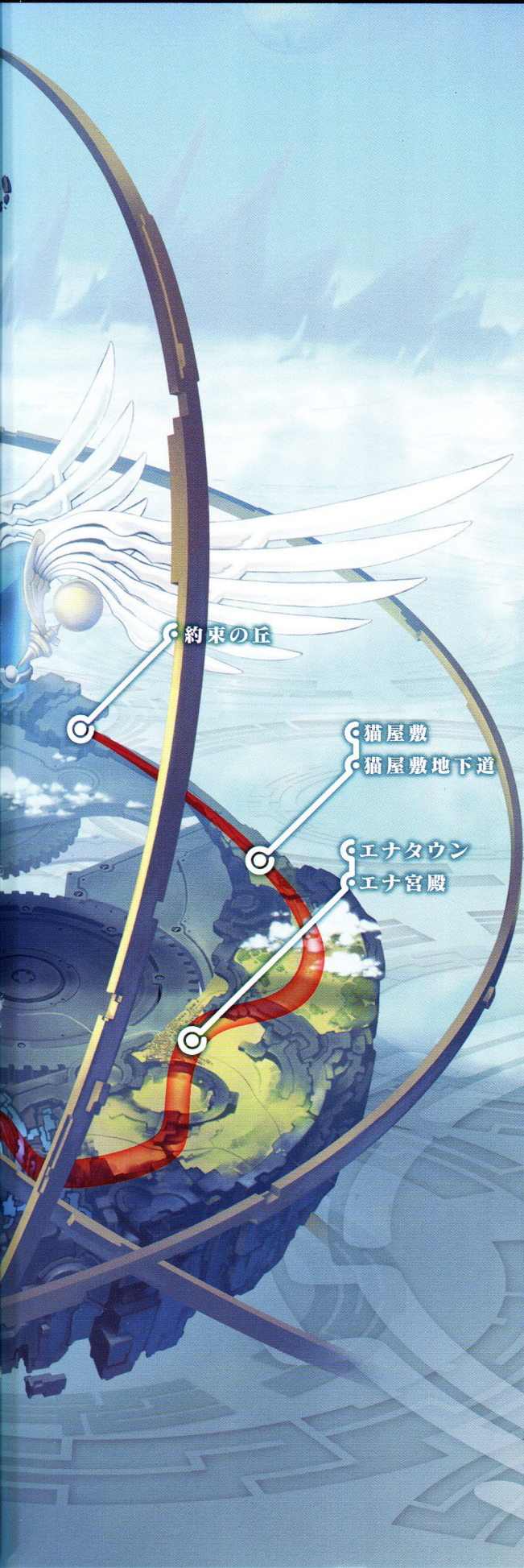
Ar tonelico II official visual book

アルトネリコ2 ～世界に響く少女たちの創造詩～

Ar tonelico II
アルトネリコ2
世界に響く少女たちの創造詩
メタファリカ
official visual book

Contents

世界全体図（リム）
インフェル・ピラ
旧市街地（スラム）
大鐘堂
ムーンカルバート
鐘撞き堂
揚水歯車
ゆめみ野
ゆめみ野地下道
I.P.D.ラボ
ラクラ
カナカナ突堤
ミント区
瑠珈の家
みくりの森
炭焼き小屋
鉄板砂漠
ジャイロ
コンダクターアクティベーション
むらくも桟橋
よろづ屋
鉄道路線
ラクシャクタウン
料理屋ボンベルタン
ラクシャク保養地

年代表

年号	事象
	第一紀以前
3007	人口過多により、理想体制の行政が崩れ始める
3016	メタ・ファルスとエル・エレミアの邂逅
3021	メタ・ファルスとエル・エレミア共同開発「プロジェクト・メタファリカ」始動
3026	ソル・マルタ設計図完成 第二塔、第三塔計画着手
3027	ソル・マルタがメタ・ファルスの地で組み立て開始
3032	レーヴァテイル2号体“フレリア”誕生 そのままメタ・ファルスへ
3034	12賢人の一人クリジャバの息子エンジャとフレリアとの出逢い
3038	フレリア、ソル・マルタへ 当時11歳相当 ソル・マルタ天高く浮上
3039	天界妖精の舞が始まり、世界中で話題になる
	インフェルピラ創世記
3040	グラスノインフェリア 人々は塔を登って避難してくる
3048	初の第三世代誕生
3053	Dセロファンの効果判明 フレリアとの疑似再会
3057	ジャザを中心とする生活共同体「パスタリア」の結成
3058	グライダーが見つかる 飛行試験の後、近隣飛行を開始
3059	クレアリス雲島群を発見する 資材としての鉱石を手に入れる
3064	次々に第三世代死亡 レーヴァテイルとの間に子供を産むなという空気が蔓延
3067	ニーズ、メタファルスを発見し到着
3075	インフェル・ピラ構想がパスタリアで生まれる
3080	新約メタファリカ理論完成 犠牲を伴う為ジャザ悩むが公表せず
3090	旧エレミア支配層を掃討 生き残った人がリムへ逃げる
3092	パスタリアに完全な秩序を持つ法を創る
3097	塔内部を伝う巨大な揚水ポンプが何本も建設される
3102	ネオエレミアへの使節団が遠征に向かう
3103	使節団、途中自然災害により帰らぬ人に 外雲海への危機感を抱くようになる
3126	ダイブマシンが開発される
3150	インフェル・ピラ、ファーストステージ計画開始
3162	インフェル・ピラ完成するも、正常に動かずに失敗
3183	レーヴァテイル・ベータER(初期反射法による転写体)技術が確立する
3215	新緑の大地宣言 メタファリカ大聖堂(現洛螺)の建設開始
3219	世の中が荒んできて、心の癒しを求める人が増える ダイバーズセラピが民間で始まる
3256	大鐘堂庁が「インフェル・ピラ」計画の再構築を発表する 10年以内の計画開始宣言
3264	新約メタファリカプロジェクト「洛螺」結成 インフェル・ピラ計画の開始
3270	ダイバーズセラピ殺人事件が発生
3275	「インフェル・ピラ」設計着手
3291	初のインフェル・ピラ依存体「I.P.D.」が転写される
3295	14代目御子(焔)に「ネネシャ」任命 3歳
3298	初代澪の御子が登場する 当時7歳
3299	大鐘堂より、御子が「焔」と「澪」の2人となることを公表
3300	澪の御子、明晰な頭脳でダイキリティ(重延命剤)の原理をまとめる
3305	澪の御子、インフェル・ピラ開発主導権を握る
3306	「澪の民」結成 洛螺の統括管理を行う
3308	新しいヒュムノス律「新約パスタリエ」がプログラムされ始める
3310	メタファリカ α 版が完成
3313	合体メタファリカを謳うも失敗 神との戦争に突入する ネネシャ死去
3315	神との戦争に勝利する しかし民衆は大鐘堂に対し冷たい
3317	澪の御子失踪 大鐘堂は第15代目御子「スフレ」を立てる
3319	神と人々との契約条項が成立する
3322	この頃から、I.P.D.の異常がチラホラと出てくるようになる
3344	I.P.D.暴走による、パスタリア市街地での大惨事発生 騎士隊含め大勢が死亡
3345	I.P.D.と暴走の因果関係を見つけるためのプロジェクトが結成
3348	ダイバーズセラピがI.P.D.暴走を抑える働きがあることが分かる
3349	大鐘堂によるダイバーズセラピの奨励と推進、そして研究が行われる
3351	15代目スフレ40歳で引退 16代目「ラクーシャ」御子になる
3355	リムの鉄道建設に関する交渉成立 スフレとラクーシャは、リムの人達の英雄となる
3356	リム鉄道の建設現場(資材置き場)に新しい町が形成される ラクーシャにちなんで「ラクシャク」と名付けられる
3357	ラクシャクからメタファリカ信者がミント区を開拓
3359	リム鉄道の名前が、母の名にちなんでスフレ軌道という名前になる ラクーシャの希望
3383	ラクシャクの軌道広場に、スフレとラクーシャの像が出来る
3394	I.P.D.情勢が悪化する 頻繁に暴走が発生し、住民を脅威に落とし入れる
3420	ネオエレミアから、幾つかの飛空挺が到来 難民船のようだ ベータ純血種再び入り込む
3424	ネオエレミアからの来訪者、インフェル・ピラを乗っ取り支配権強奪
3435	時の御子イリューシャ、エレミア人殲滅 「戦場の御子イリューシャ」賛否両論
3441	対外的防衛構想制定、イリューシャ主導で大鐘堂母艦が計画される
	近代
3745	32代目御子「アーシェ」、14歳御子になる
3748	HC「ハイバネーション」が完成
3750	レグリス、パスタリア大鐘堂に従事
3751	教皇急死、アルフマン摂政が政治的トップに
3753	御子アーシェがI.P.D.暴走によってエナ宮殿で死去
3754	カナカナ突堤I.P.D.襲撃事件
3756	チェスター、18歳で大鐘堂に入る
3758	レイカにI.P.D.発症 大鐘堂に保護される
3760	33代目御子「クローシェ」、5歳御子になる
3761	チェスター大鐘堂離反、神聖政府軍を創設
3764	レグリス、大鐘堂騎士隊長に任命される
3766	瑠珈、13歳になってダイブ解禁 ダイバーズセラピを始める
3768	クロアが騎士になり、パスタリアへ
3771	大規模陥没 パスタリアのみならず、リムの一部も欠損 犠牲者多数
3772	ラクシャク保養地襲撃事件発生

物語の舞台

狭い塔の上に、へばりつくように人々の住む地、メタ・ファルス。人々は「メタファリカ伝説」を夢見て、緑の肥沃な大地を紡ぐべく何度も挑戦したが、その度にことごとく「神」の存在によって阻止されていた。
神に支配された世界。人々は生きる気力も希望も失って、日々の暮らしを強いられていた。そんな中、大鐘堂と言われるこの世界を統治する組織に、新しい風が吹く。アルフマン総統率いる新政府組織は神との戦争を掲げ、緑の大地を自らの手で紡ぐことを約束したのだ。神の支配に辟易としていた民衆は、この新政府を熱を持って支持した。神と人。この地はどちらの手によって治められるのか。
そして、人々の悲願である緑の大地「メタファリカ」を紡ぐことが出来るのだろうか……。

パスタリア市街地

この地を治める「大鐘堂」がある都。主人公「クロア」が騎士隊に入隊した後、住んでいるのがこの街である。人工的に創られた滝によって水と緑が豊かな地だが、それを維持するために住民の数は限られている。現在この街に入るためには、街の出入りを許可する「ネロプレート」という割り符が必要となっている。

ミント区

ラクシャクに住む熱狂的なメタファリカ信者が、自分たちの力で大地を創るために開拓した村。結果は成功とは言い難いが、村の人達はこの地を大切にしながら生活している。自分たちで食べる分の作物程度はとれるため、最低限の生活は営める。街の真ん中にある大きなファンが特徴。

語り継がれるメタファリカ伝説

この地には古来から、理想郷「メタファリカ」伝説というものが存在している。遙か昔、この世界には、謳うことによって大地を生み出すヒュムノス詩「メタファリカ」が存在したという。その詩を謳えば、たちどころに緑の大地がこの世界を覆うというのである。人々は、明日にも崩れそうなこの大地で生活しつつも、誰もが緑の大地メタファリカを待ち望み、日々の暮らしを営んでいる。

クロア・バーテル

この地を治める「大鐘堂」という組織の下っ端騎士。小さい頃に両親を失い、その後幼馴染みである瑠珈の家の両親に世話になって生活していた。大きくなるにつれ、メタ・ファルスと新緑の大地への憧れを持つようになり、大鐘堂の騎士団へ入隊する。

▲クロアの家 2F

▲クロアの家 1F

Chroah-Vatel

瑠珈(ルカ)・トゥルーリーワース

明朗快活で、元気な娘。クロアの幼馴染みで、公認のカップル。幼馴染みという事もあって、周りからは「お似合い」と好評。瑠珈は、自分のレーヴァテイル質を活かして、精神世界に人を入れて癒す「ダイバーズセラピ」という仕事を生業としている。

▲瑠珈の家　外観

▲瑠珈の家　2F

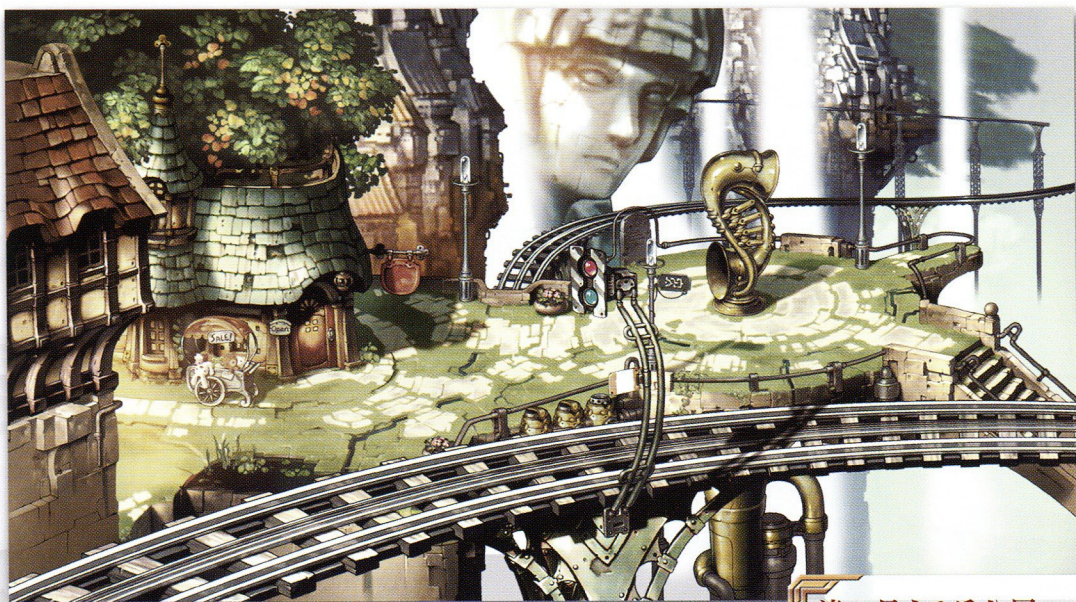
▲瑠珈の部屋　1F

Reisya-Truelywaath

聆紗（レイシャ）・トゥルーリーワース

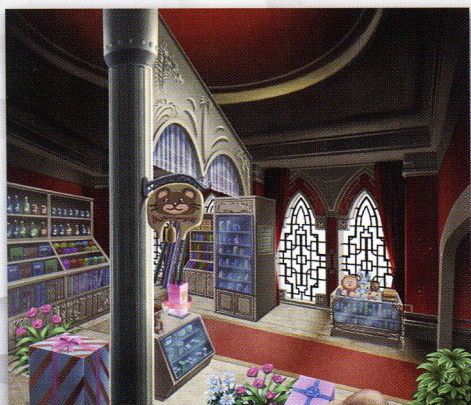
瑠珈の母親。現在はミント区に、瑠珈と2人で住んでいる。聆紗自身は、ミント区の畑で農業をやっており、瑠珈の仕事とあわせて生計を立てている。瑠珈にレーヴァテイル質が発症した9歳の頃から家族関係がにわかに怪しくなり、現在は家族の会話は殆ど無い。家庭の母娘間は非常に冷めている。

クローシェ・レーテル・パスタリエ

メタ・ファルスで「最も尊い命」といわれている娘。レーヴァテイル。周りからの羨望の眼差しを一手に受けている、大地を紡ぐ御子。彼女の演説が大変熱意があるものであることと、マンネリ化した世の中に活を入れた（神との戦争を提示している）御子として、人々の期待を一身に受けている。

滝の見える丘公園

この公園は、クローシェの「少しでもメタファリカを身近に感じられるような場所を作りたい」という想いから作られた。大石像が見渡せる瀑布の近くに作ったのも、滝やその周りの木々によって、そこの空間がメタファリカを想像できるような民衆が安らげる場所になるように、という気持ちからである。実際この公園は人々にとても愛されていて、特にカップルには大人気の憩いの場になっている。

▲公園内ファンシーショップ

▲ゲロッゴ

▲クローシェの部屋

ココナ・バーテル

クロアが養っている女の子。クロアが16歳の時、旧市街区で大規模なI.P.D.暴走が勃発する事件があり、その時親を失い独り身だったココナを、クロアが養うことにした。11歳の割には非常にませたところがある。髪留めがバトンになるという、特殊な武器を使っており、戦闘中は髪を下ろす形になるのだ。

レグリス・ブランシェスカ

パスタリア一般下層階級住居地域出身。騎士隊の長にして、人々の治安を護る軍隊を取り仕切る幹部。とにかく堅実的であるが為に、階級も地道に上げてきた。そしてその堅実さと実力を評価され、大鐘堂騎士隊の隊長に任命されている。人望も厚く、隊員から内政的な御法度などの相談も受けることがある。

Legris-Branchesca

アマリエ・ジェラード

レンジャー稼業の冒険者おねえさん。とある森で、クロア達と出会い共に旅するようになる。
いつも傍らには謎の生物「スープ」がいる。物心着いた頃からアマリエと一緒にいるらしい。ライアー演奏に長け、レンジャーの傍ら、町や村でライアーを演奏して少しばかりのお金を稼いでいる。

スープ

アマリエと一緒に行動している謎の生物。「プー」などとしか言えないが、人の言葉は解るようだ。

Amarie-Jerhad & Soup

瞬（しゅん）

神サイドの使者として神聖政府軍に協力しているオオカミ。アルフマン政権が「神との戦争」を企てることを知り、神がそれに反する有力勢力である神聖政府軍を援護するために送り込んだと言われているが、本人の弁ではないため、真実は定かではない。ただ、神聖政府軍にとって最高の戦力である。

Shun

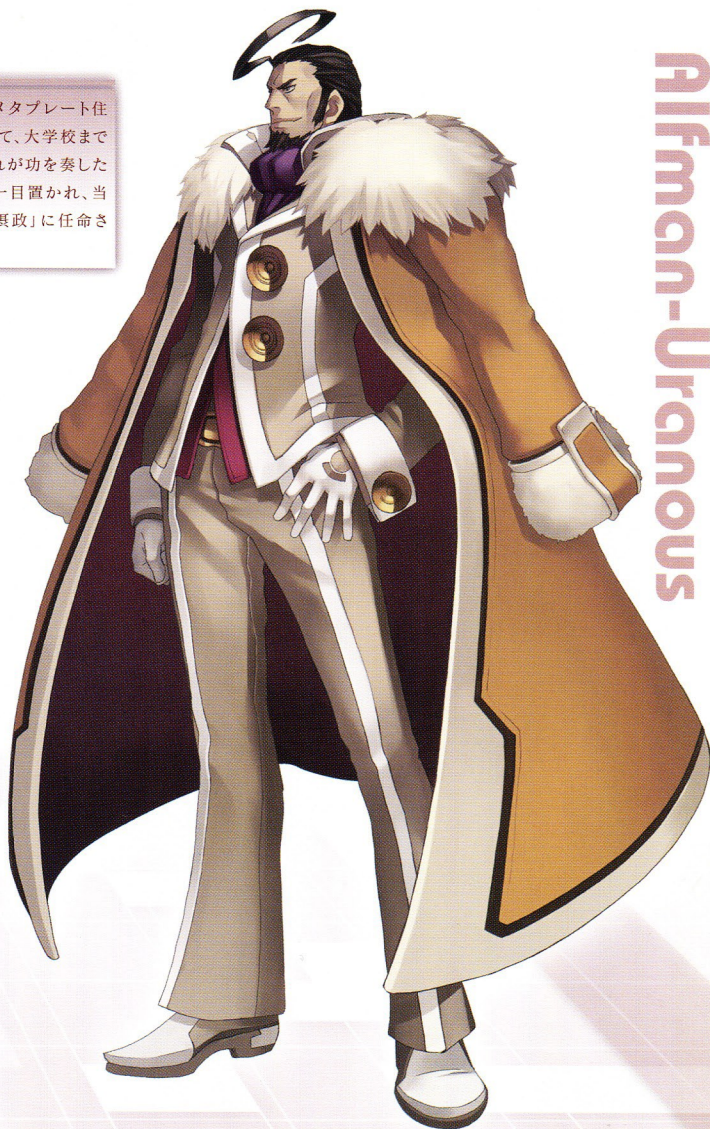
大鐘堂

この地を治める政府機関。宮殿の上には、聖域と言われる「鐘撞き堂」があり、そこにある大きな鐘が大鐘堂という名前の所以。大鐘堂は本来教皇と言われる政治的なトップと、御子と言われる神の声を聴く者によって統治されていた。神の声を聴く御子の言葉は絶対でありそれが幸いしてこの世界はここ400年ほど、大きな動乱もなかった。しかし、約20年前、一政治官であったアルフマンによって起こされたクーデターがきっかけで、大鐘堂は体制を180度変更する。自らを総統と名乗るアルフマンは現在、御子クローシェと共に、神との戦争を掲げている。神の御心にそぐわない政治は、大鐘堂700年の歴史始まって以来である。

▲大鐘堂演説広場

▲大鐘堂旗

▲教皇の間

Alfman-Uranous
アルフマン・ウラノス
パスタリア一般上層階級住居地域出身。メタプレート住民。恵まれた家庭に育ち、普通に学校を出て、大学校まで卒業し、大鐘堂庁で働く。大鐘堂庁ではそれが功を奏したのか、政治手腕や人をまくし立てる手段に一目置かれ、当時の教皇より政治での実質トップである「摂政」に任命される。
Dr.Roudness
ドクター・ラウドネス
緑の大地メタファリカの実現に魂を燃やす、研究者。音科学やロストテクノロジーに精通しており、頭はかなりいいみたいだが、如何せん性格に問題があるようだ。アルフマン政治は実質ラウドネスが全て決定しているという噂すらある。

神聖政府軍

アルフマンがクーデターを起こす前、大鐘堂には教皇を中心とした政権があった。神聖政府軍は、クーデター政権である現行大鐘堂から、歴史有る以前の教皇政治を取り戻そうとする人々が集まっているレジスタンス集団。現在の大鐘堂が掲げる「神との戦争」を批判し、昔からの「神との共存」を掲げる。
現状、人々は神に従って生きることにシビレを切らしていたため、支持者はそれ程多くない。ところが近年、教皇の正統な血筋と言う男が神聖政府軍を率いるようになり、更に「神」より「神の使い」が遣わされたことで、下火だった活動に一気に火がついた。大鐘堂の騎士が「白い鎧」を着ているのに対し、こちらは「蒼い鎧」が象徴的。小都市「エナ」に本部を置いている。

古文化の街エナ

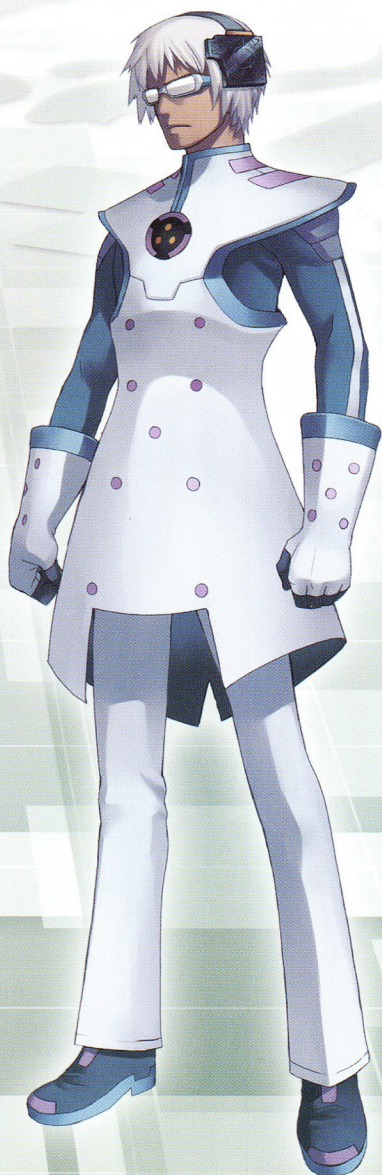
はるか数百年前、御子政権に敵対する人達がパスタリアを追われ、その時に開拓した街。リムに人々が移住した最初の地である。後に敵も味方も無くなり、エナとパスタリアは交流が復活する。その頃に大鐘堂が保養地として建てたのが「エナ宮殿」である。エナ宮殿はリムの行政中心としても機能し、エナは行政の街として栄えた。しかし今から18年ほど前に、大規模なI.P.D.暴走が発生し、エナ宮殿は炎上、時の御子をも巻き込む大惨事となる。焼けてしまったエナ宮殿は、現在では一部が神聖政府軍の本部として使われている。現在は、神と敵対する大鐘堂に反旗を翻す、レジスタンスの本拠地としての色合いが強い。

▲エナ鳥瞰

▲神聖政府軍旗

▲エナ市場通り

タルガーナ皇太子

現体制である「アルフマン政権」と敵対する勢力「神聖政府軍」のトップでありカリスマ。その実は、アルフマン政権の前まで続いていたパスタリア教皇政治の、教皇の正統な血筋。非常にプライドが高く、教皇の血を汚す者は誰であろうと天誅を下す。プライドや家柄、そして闘いこそが彼の生き甲斐である。

チェスター・ル・ウィノア

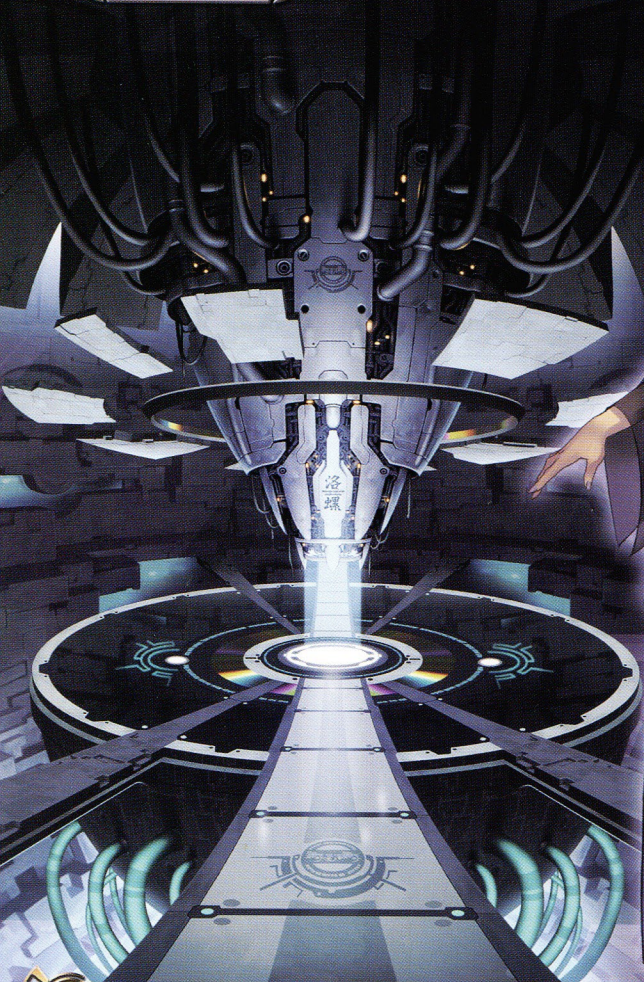
アルフマン政権と対立する組織「神聖政府軍」の、実働部隊トップ。神をも畏れぬ悪政を敷く現政権に立ち向かうよう、民衆を奮い起こす。常に冷静沈着、人間とは思えないほど取り乱すことがない。しかしその裏には、過去の様々な傷をかかえており、それが今の彼を無感情なものにしてしまったのである。

ロストテクノロジー

この世界「メタ・ファルス」は、第一紀と呼ばれる「大地の存在した時代」に作られた、数々のロストテクノロジーによって支えられている。大地の存在しない現在(第三紀)において、存在する大地は全て、そのテクノロジーによって生み出された「塔」の一部なのである。「メタ・ファルス」は、第一紀に作られた三本の塔「アルトネリコ」のうちの1本を中心にして、その周りに人々が住んでいる世界である。
この第一紀の超文明による技術は現在も稼働している機関が多数存在しており、その機能である「天候制御」「環境アセスメント」「重力制御」などによって、現在の世界が辛うじて人が住める世界として維持できている。そのロストテクノロジー技術の中心には「管理者」と呼ばれる原初のレーヴァテイル“オリジン”が存在し、彼女がその機能の全てを掌握しているという。レーヴァテイル“オリジン”は、第一紀終焉後700年以上経った今も生存しており、その世界を維持し続けている。
それ以外にもメタ・ファルスには、第二紀と呼ばれる400年前にも超文明が栄えたという。その時のテクノロジーである「ラクラ」などは、現在も現役で稼働している。

フレリア

この世界の「管理者」と呼ばれている存在。世界に3体しかいないと言われている、原初のレーヴァテイル「オリジン」である。天上と言われている場所に住んでおり、この世界を見守っている。

ラクラシステム

零音節 洛螺

発症したI.P.D.を探知できる、特殊な能力を持った女性。I.P.D.を探知すると、それを騎士隊のセンターへ通報し、発症I.P.D.の近くにいる騎士に対し速やかに保護指令を出す。殆どの人は彼女の存在を知らず、I.P.D.捕獲出動命令を出される騎士達ですら彼女のことを知る者は少ない。

Reionsetsu-Rakura

Frelia_Ansul_Solmarta

フレリアの間

アルシエル球

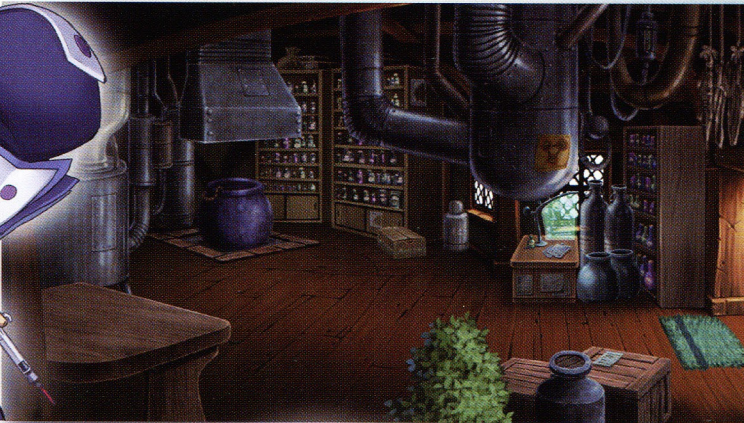
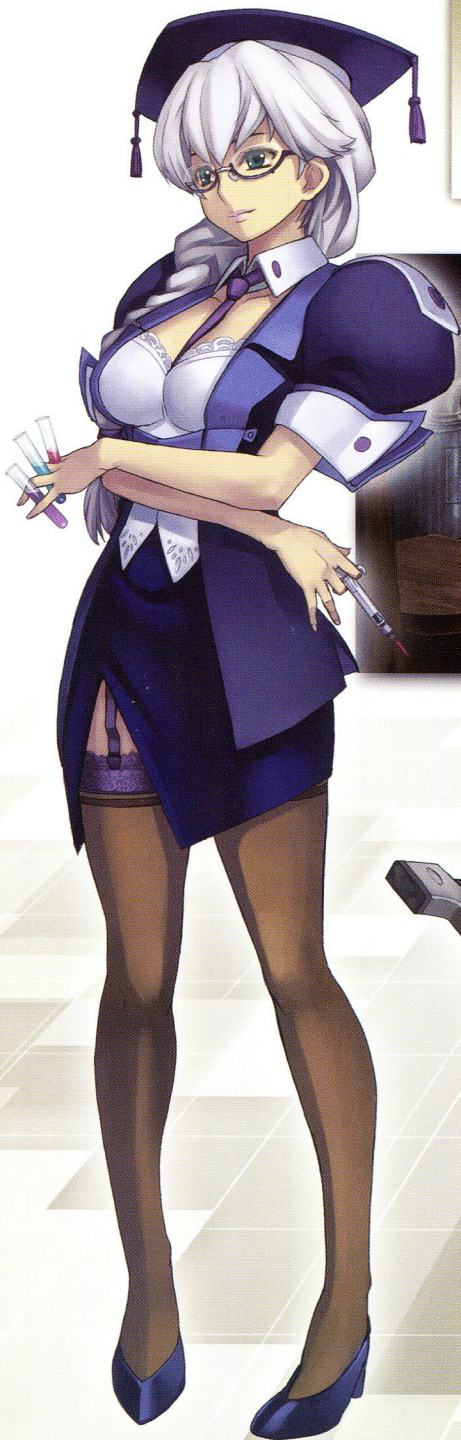
ラキ

天界にいて「神」を護る者として存在するガーディアン。過去の歴史でも、メタファリカを紡ごうとすると神の軍団を率いたラキが何度もメタ・ファルスに降りてきている。冷静沈着で冷徹。感情というものが一切無いようだ。

Rhaki

薬系店員・スピカ

小都市エナで薬屋を経営している。
前作では、ほたる横丁のほたる一番街で名物の猫飴を売っていた女性。
しかしその正体は裏の世界の流通に凄腕のバイヤーで、さまざまな秘密情報や良質のグラスノ結晶を高額で取引していた。

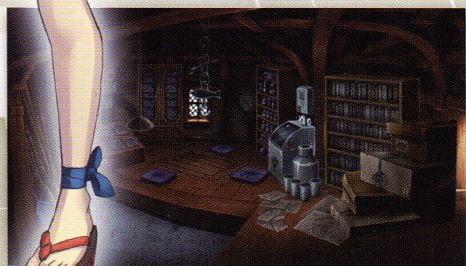
名物猫飴

▲薬屋店内

武器系店員・シンシア

武器屋の娘。クロアとは数年前からの知り合いであり、気の合う友人。

▲武器屋店内

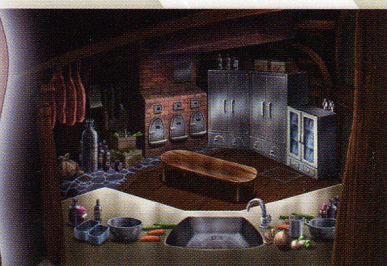
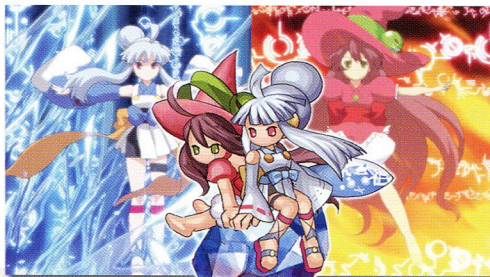
よろづ系店員・沙亜紗

小さなよろづ屋の孫娘。両親がいないために一人で店の全てをこなしている超働き者。

▲よろづ屋店内

食べ物系店員・空猫

瑠珈の元バイト先のウェイトレス。瑠珈のことを先輩と呼んでいる。

▲料理屋厨房

レーヴァテイル

この世界に存在する「謳うことで魔法を使うことが出来る」種のこと。最初は人間として生まれるが、10歳程度で発症し覚醒する。ただし女児にしか発症しない。発症すると、著しく生命力を消耗するようになり、3ヶ月に1度延命剤というものを投与しなければならなくなる。その代わり、詩を謳うことで強大な力を操ることが出来、感覚でヒュムノス語を理解することが出来るようにもなる。また、この世界ではデュアリスノ結晶という結晶を水に溶かして身体に吸収させることで詩魔法力をパワーアップすることも可能である。

詩魔法

▲モンサンガール

▲ボルカニクス

▲氷瀑竜華

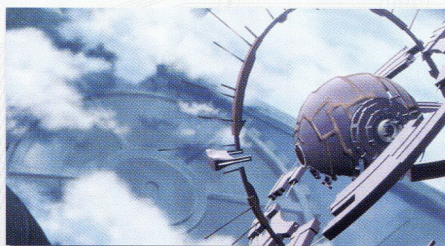
▲インバートブリッド

◀デモンジェル

彼女たちの謳う詩魔法は、彼女たちの心の中で紡ぎ出す。その為の行為をダイブといい、パートナーとなる人間がレーヴァテイルの心の中に入り込み、そこで様々な未完了や心の傷を回復することで、その強い愛の想いを詩にする。大抵は男女ペアとなっているが、女性同士でパートナーを組むことも希にある。どちらにせよ、強い絆を持っているペアほど、強力な詩魔法を唱えられるのである。なぜなら、強力な詩魔法は心の深いところで紡ぐものであり、心の深いところは、相当信頼の絆で結ばれた二人でなければ不可能だからである。絆の強さが詩の力である、という文句は、そういった裏付けから来ているのである。

I.P.D.感染症

400年前、神との戦争があった。その時、神は人々に鉄槌を喰らわせた。それはレーヴァテイルを蝕む、恐ろしい感染症。I.P.D.はレーヴァテイルにのみ発症し、発症すると精神を蝕まれ、魔法を暴発する。その為、発症した場合、気絶させるなどして隔離するほか無い。I.P.D.感染症の恐ろしいところは、その感染力。感染体が発症すると、その周囲数十メートル圏内のレーヴァテイルは、高確率で連鎖発症する。その為大鐘堂騎士隊は、住民の安全を維持するために、発症I.P.D.を確認して速やかに保護する役割を担っている。

インフェル・ピラ

パスタリアの上空に浮かぶ、半壊した土星のような球体。この世界最大のロストテクノロジーで、400年ほど前に作られたものである。この球体がまだ現役だった頃には、神をも倒さんばかりの力を秘めた、世界最強の兵器だったという。現在は半壊している事もあり、ただ静かに空に浮かぶのみである。古文書によれば、レーヴァテイルが声を合わせて謳うことによって形が変化し、その機能を変化させると言われている。その中でも「レプレキア」と言われる変化モードは、現在の学者の中でも有名な変形形態であり、風の噂では、現在の大鐘堂は既に、インフェル・ピラをレプレキアモードにする術を知っているという話だ。

モード・レプレキア

インフェル・ピラの変形形態の1つである「レプレキア」。複数のレーヴァテイルで同じ詩を謳うと、インフェル・ピラがその力をまとめてあたかも一人が詠唱しているような状態を作り出す。それにより、単純に詠唱人数倍の詩魔法力を生み出すことが出来るのである。

ヒュムノス

■ヒュムノスの起源と流派

ヒュムノス、ヒュムノス文字の起源は古く、第一紀に音科学の父が「音魔法」を発見する前から存在していた。当時は「月奏」と言われ、いわゆる祈祷師が使っていた呪文列がヒュムノスの起源となる。その後、この「月奏」をベースとして、塔のコントロール、塔の交信に最適化された言語としてフォーマット化されていく。そこから世界中に汎用的に広がっていったヒュムノスは、各地域、そして宗派などによって微妙にフォーマットを変え、また歴史によってどんどん単語などは変化していった為、古文や方言などというものが存在する。

▶それらのヒュムノス派生は、以下に大分される。

●中央正純律

「中央」というのは、第一紀に詩魔法の中心と言われた第一塔「アルトネリコ」の事である。この塔をコントロールするために最適化された呪文列を中央正純律と呼び、ソル・シエールの首都「エル・エレミア」の塔管理局が世界標準と決めたフォーマットでしかない。

●クルトシエール律

このクルトシエール律こそが、昔「月奏」が詠唱していた祈祷師の呪文であり、ヒュムノスの原点である。現在はかなり忘れ去られており、殆ど残っていないと言われる単語体系。

●クラスタ律

第一紀、ソル・シエール地方より遠く離れた地域(星の裏側)にあったソル・クラスタ地域に伝わり確立されたのが「クラスタ律」である。中央正純律から見たら、俗に言う「方言」というものだが、実際の効果は殆ど変わらない。

●アルファ律

世界に3体しかいないといわれている「レーヴァテイル・オリジン」は、自らの心の中で、最適化されたヒュムノス単語を紡ぎ出すことが出来る。こうして出来た単語のことを「アルファ律」と言う。そのオリジンの管理する塔でないと、最大限の力を発揮することが出来ないという難点がある。

●古メタファルス律

第一紀に世界を席巻した、とある聖教が紡ぎ出した律。その詳しい歴史は闇に包まれている。ところが、この律を使用した詩が現在でもそれ程珍しくなく出てくる。

●新約パスタリエ

オリジンがいつでも紡ぎ出せる「アルファ律」を除いては、唯一第三紀に作られたと言われている律。詳しくは下記項目「新約パスタリエ」参照。

■ヒュムノス単語を使った呪文列の種類

ヒュムノスワードを使用する呪文フォーマットには、大きく分けて3つが存在する。

●ヒュムノスエクストラクト

「塔をコントロールする詩」の事で、アルトネリコを直接制御できる力を持つ。しかし、これには認証が必要であり、その許可を得ている特定のレーヴァテイルしか使うことが出来ない。一般的に「ヒュムノス」とは、この「ヒュムノスエクストラクト」の事を指し、これを使用するための鍵は、「ヒュムネコード」といわれるレーヴァテイル識別子である。

●ヒュムノスワード

いわゆる第三紀で「詩魔法」と言われているもので、戦闘などで使う妄想魔法の事である。これはレーヴァテイルであれば誰でも使うことが出来、自分の心の中にアクセスするだけで、そのバリエーションをどんどん増やすことが可能である。使用に制限はなく、心の豊かさ=ヒュムノスワードの多彩さ、という事になる。

●ヒュムノススペル

詩として使用することはないが、詠唱することで発動する呪文文字列。レーヴァテイルが唱えるものではないというのも大きな特徴である。ヒュムノススペルは、主に人間がレーヴァテイルや塔にアクセスしたりコントロールする時に使用するもの。ヒュムノスワードと違い、次々と新しいものを産み出すことは出来ない。主にヒュムノスエクストラクトのダウンロード、隔壁認証などに使われていた。

■ヒュムノス文法

最も特徴的と思われることが、別名「感情言語」と言われる通り、文章の中に必ず自分の感情を表現する言葉が入るという事である。自分自身がどう思っているのか?という事が文章の中に水のようにとけ込んでいる言語なのである。現在の日本語を始めとする「事象主体」言語では表現しづらい「感情主体」の言語であるが、例を挙げる以下のようになる。

Was yea ra	wael	Herr	hyma	ar wart.
想音	動詞	主語	副動詞	名詞…

ワスイェァラァ(とても嬉しい)

「彼がその言葉を聞いた事を嬉しく思った」と、私はそれが自分のことの様に嬉しい様を表現しながら語る。

最初の「Was yea ra」で、上記訳の「」以外の部分全部を表している。

●想音(そういん)

先のサンプルで言う最初の3単語に当たる部分を「想音」という。

想音は、第一節〜第三節までの3単語で構成されている。

[第一節]		[第二節]		[第三節]
その度合	―	具体的な感情	―	この感情は脱したいか、このままでいたいのか

▶第一節

第一節では、感情起伏の度合を表現。

例)Rrha=トランス状態/Was=とても強烈に/Wee=かなり

Fou=ちょっと/Ma=平常心/Nn=無気力状態

▶第二節

具体的な感情。

例)i=焦り/yea=嬉しい/paks=ドキドキ/num=無

ki=真剣、集中/wol=猛進、熱血

▶第三節

で、自分は今の状況をどうしたいのか?

例)ga=はやく脱したい/ra=このままでいたい

●本文

上記例文は、本当に普通の文章であるため、「彼は〜」という主語が入っているが、実際に呪文として使う場合ヒュムノスの主語は殆ど一人称となる。それは「自分がどうしたいか」という事を伝える言語の為である。それ故、ヒュムノスは二人称、三人称の文法は得意ではなく、普段は主語無しの文章となる。

▶ヒュムノス構文基本形

想音-動詞-目的語-装飾語(VC/VOC/VOO)

▶ヒュムノス構文二人称、三人称基本形

想音-動詞-[rre]-主語-副動詞-目的語-装飾語(VSV'C/VSV'OC/VSV'OO)

基本的には英語文法の「SVOC」などから「S」を抜き取った「VOC」という形になる(Sを想音のSとするならば「SVOC」となるが)。そして、他人のことを話す、一人称以外の主語が付く場合、それは第一動詞のあとに着く形となり「VSV'OC」などという形となるのである。この最初のVに来る動詞は、どのようなことがあってもまず「自分がどうしたいか(もしくは「どうしたか」)」という、自分に向けての動詞になり、次のV'に「その人称の者が何をしたか」という動詞になる。

▶主語定義 rre

主語を普段持たず、例外として行うヒュムノスでは、主語を敢えて付ける場合に「主語定義」という構文を使う。主語定義は、主語となる名詞の前に「rre」という単語を付けるだけ。通常「rre+名詞」で使うが、二人称、三人称である「あなた」「貴方達」「彼」「彼女「彼ら」「彼女ら」にはrreを付けない。その代わり、それ専用(主語専用)の単語が用意されている。

人称	通常(目的語)	主語使用	人称	通常(目的語)	主語使用
あなた	yor	yorr	あなたたち	yora	yorra
彼	hes	herr	彼ら	hers	herra
彼女	has	harr	彼女ら	hars	harra

●想音の保証定義構文

想音は、文章列の先頭に必ずつけなければならない。ただ、長文をヒュムノスで書く場合、感情もそれ程変わるわけでもないのに毎回付けるのはナンセンスである。その為、長文を扱う場合は、最初に「想音の保証定義」という契約文を送る。

[Ma num ra 0x vvi.](確約定義開始)

(本文略)

[1x AAs ixi.](確約定義終了)

●想音の裏技

▶想音を入れない使い方

想音とは、あくまで自らの感情を表現する部分である。しかし、想音が無いとヒュムノス呪文として塔は認識しない。しかし、それを逆手にとって、わざと想音を外して謳うという事もできる。こうすることで「呪文」ではなく「言葉」として届けることが出来る。

▶想音の二重登録

想音の保証定義構文を最初に定義し、その中でまた想音を含んだ文章を詠唱することも可能である。その場合、その部分だけがその文章に付けられた想音を優先される。長文を詠唱中に大きな感情の変化があった場合、省略していた各文章の先頭に、臨時記号の如く想音を発音していけば、その想音が優先されるのである。

新約パスタリエ

新約パスタリエという言語は、その名前の示すとおり、パスタリアで新たに作られたヒュムノス語の体系である。厳密には400年ほど前に、時の御子と大鐘堂の音科学技術者によって開発された言語。この新約パスタリエは、他の言語体系とは一線を画す画期的なヒュムノス語として作られている。

最も特徴的なのが、想音、主語、動詞まわりの文法と単語の体系が、他のヒュムノスのそれとは全く違うことである。新約パスタリエは「想音+主語+動詞」で1単語となる「想音動詞」という文法を持っている。これにより、普通のヒュムノス語の転送速度の実に最大で12倍の転送速度で詩魔法が発動出来るようになるのである。

例えば「Was yea ra hymme sos yor.(貴方のために歌うことに喜びを感じる)」というヒュムノス語の文章を新約パスタリエで表現すると、「hYEmmrA」という一単語になる。この一単語の中に、想音と動詞と主語と目的語が含まれているのだ。

このように、最高に最適化をされた言語体系であるが故に、既に人間には発音することも謳うことも出来ない。既に人間という存在を割り切った、完全なるレーヴァテイルの為のヒュムノス語なのである。新約パスタリエの文法、単語などに関しては、今後随時ヒュムノサーバーにて公開予定。

コスモスフィア

「コスモスフィア」とは、レーヴァテイルの精神世界の事で、まさに「人の夢の中に入り込む」ようなもの。レーヴァテイルは、心の中で大きな衝撃や感動があると、そこから詩魔法を紡ぎ出す。そこで、パートナーがレーヴァテイルの心の中に入り込み、様々な心の傷を癒したり、葛藤を解決することで詩魔法を紡いでいく。そのフィールドとなるのが「コスモスフィア」。コスモスフィアは、彼女たちの心象世界そのものであり、そのレーヴァテイルの性格や性質などがコスモスフィアの個性を作り出す。

Gengorou

ゲンゴロー

瑠珈の心の護。本人曰く「受付係」。その意は、瑠珈のコスモスフィアにはダイバーズセラピによる「お客様」が沢山来るため、いつもその案内をやらされているから。その容姿と名前のギャップに、誰もが名前を覚えるらしい。不本意ながら有名人(有名護?)である。営業スマイルの達者な可愛い子。

瑠珈のコスモスフィア

ダイバーズセラピという、不特定多数の人を心の中に入れる彼女は、その為に心の中を鍛えているため、コスモスフィアの一部を自分の好きなようにデコレーション出来る。そんな彼女の精神世界はケーキのような世界になっている。これは、彼女がデザインした「お客様向け」の世界なのか、それとも彼女の深層心理の表れなのか、それはまだわからない。

▲お花畑

▲ディーポイント

▲瑠珈の部屋

▲山小屋

▲壁

▲草原

その他様々な精神世界の風景

▲インフェルスフィアゲート

▲ドールハウス

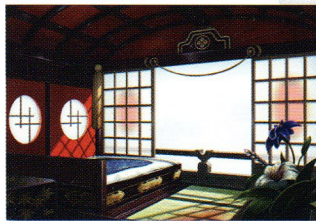
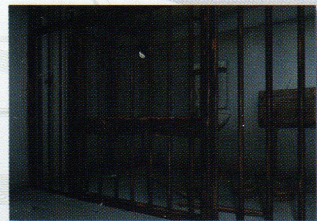
▲王宮の庭

心の護

レーヴァテイルの心の中の住人である「心の護（こころのもり）」。
大抵は、彼女たちが幼少期などに体験した思い入れの深い物や人物、記憶の具現化などが、マスコットのような形になって存在している。心の護は、コスモスフィアに入ってくるダイバーから精神を護るために存在しているのと同時に、ダイバーの身の安全にも気遣うという、ダイブ時のサポーターとしての役割が大きい。I.P.D.感染症にかかると、心の護がいなくなるという噂もある。

クローシェのコスモスフィア

Infel

人と接することが殆ど無いクローシェのコスモスフィアは、人を受け入れることを拒絶する傾向にある。そんな彼女の精神世界は薄暗く、人を受け付けない感が漂っている。しかし、コスモスフィアは深い階層へ進んでいくとその特性が大きく変わっていく。彼女の心は、深層心理までずっと人を受け入れないのか。

インフェル

非常に事務的で、効率を最優先する。口癖は「ホント、バカね」「バカばっかりね」など。相当知識があるらしく、様々な謎を的確に解説する。しかし、愛よりも効率を優先させるのか、時にマスターであるクローシェにすらシビアな事を選択するときもある。

▲ラボ

▲駅前繁華街

▲汚い食堂

▲境界鍵

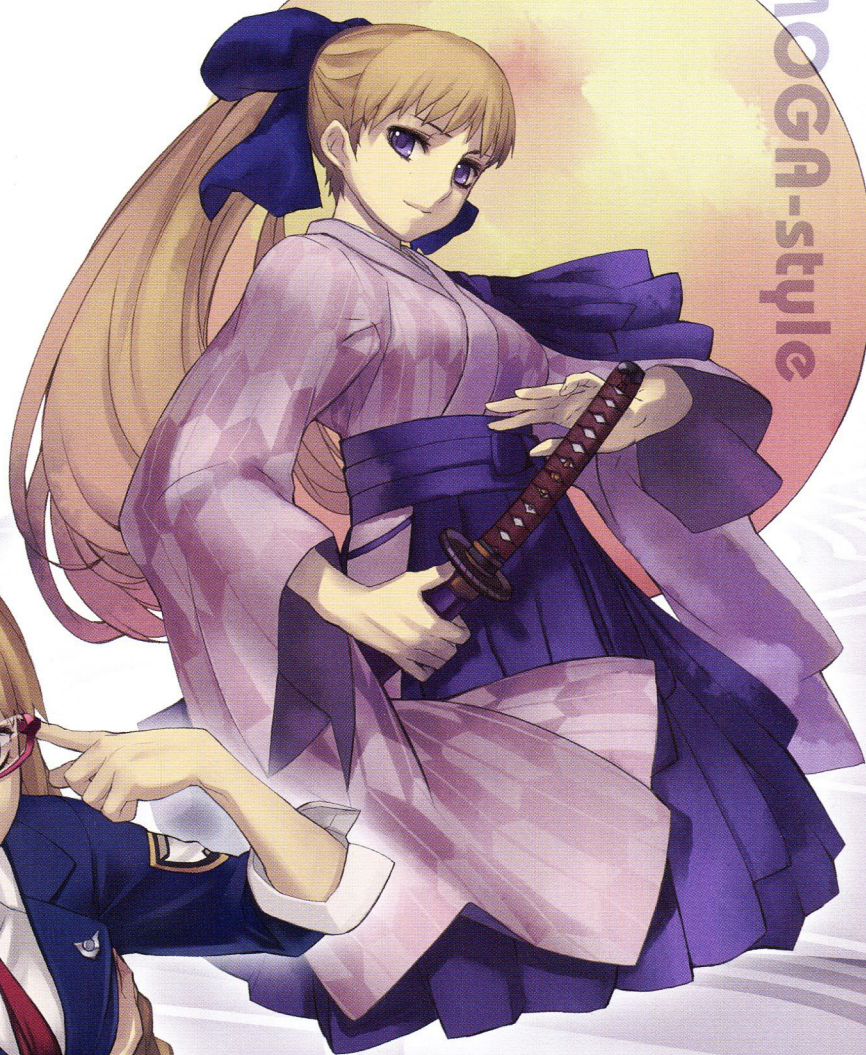
▲旅籠

▲牢屋

▲幻想海

▲処刑台

▲男子寮

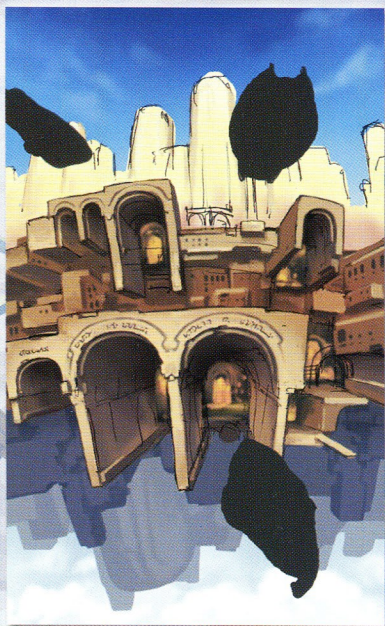
SorcerMaria
Choberibian

MOGA-style
metamor-president

空の便

パスタリアのある塔部分、リムと言われる円形の部分など、この世界は地続きになっていない場所が沢山存在する。大地が無く「死の雲海」の広がる世界という特性も助け、この世界では飛空挺技術が目覚ましい発達を遂げてきた。そして現在では、パスタリアとラクシャクを往復する定期便をメインとした、様々な空の便が存在している。ただ、飛空挺技術とは別に、リムとパスタリアを結ぶ旅客定期便は、ラクシャク－パスタリア間にしか運行されていない。これは、パスタリアが入市規制をしているという法的な要因に寄るものである。一方貨物便は、エナとパスタリアを結ぶ便も存在し、旅客便よりも活発である。

飛空挺交通の歴史

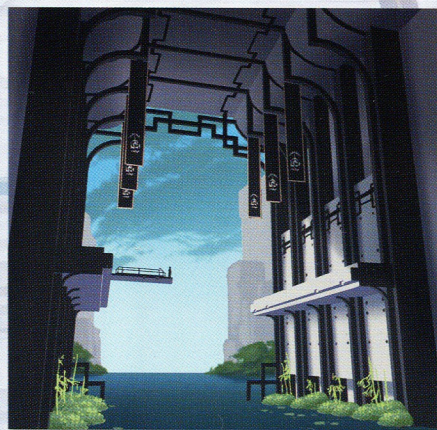
この世界での飛空挺による交通の歴史は、主にパスタリアの市内での交通の歴史になる。それはパスタリアとリムの関係が、歴史的に見ても人の行き来を制限していた事が多く、この両者を結ぶ交通が栄え始めたのは近年になってからの為である。飛空挺といえば客船を思い出すと思うが、メタ・ファルスで最も歴史のある飛空挺は「カーゴ（貨物船）」である。元々土のない場所だったこの世界に、遠くに見える数千メートル級の山岳連峰から土を運び盛ることが出来たのは、このカーゴの目覚ましい輸送能力の発達によるところが大きい。その次に発達を遂げたのが、パスタリアの市民の足である「エアバス」。これは、縦に長いパスタリアシティを飛び回る、20人程度が乗れる小型飛空挺である。その後ようやく、中距離用旅客船「パッセンジャー」が開発され、リムとの交流が活発になっていくのである。

飛空艇航路案内

▲ラクシャク空港

▲大鐘堂空港

パスタリア

ラクシャク

エナ

耀ける美星の航路

ラクシャク ⇔ パスタリア

旅客船の比率が高いラクシャク航路は、パスタリアへ夢を抱いて渡航する人が多い。その為、あの輝ける星へ向かう、という希望に満ちた想いから、このような名前がついている。

躍動する天地の航路

エナ ⇔ パスタリア

エナ航路は基本的に貨物船であり、旅客ターミナルなどは無い。しかし、エナ付近より調達される資材は、パスタリアにとっては基盤維持の生命線であり、それ故に大切にされている。

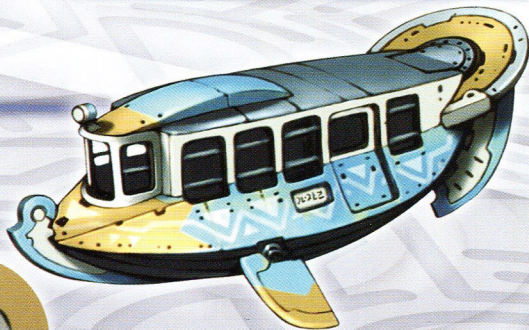
パッセンジャー

旅客用飛空挺。遊覧船のようにデッキにテントが張られており乗客はデッキから雄大な空の眺めを堪能できる。下の方には一般船室と個室もあり、仮眠を取ることも可能。この世界は距離的に知れている事もあり、飛空挺の性能自体はそれ程高いものではない。のんびりと航行する飛空挺が多い。

カーゴ

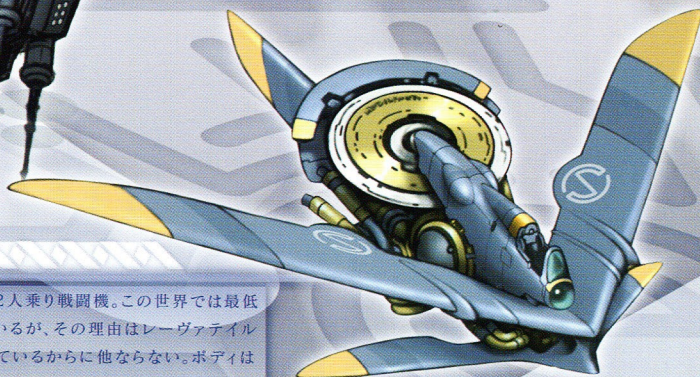
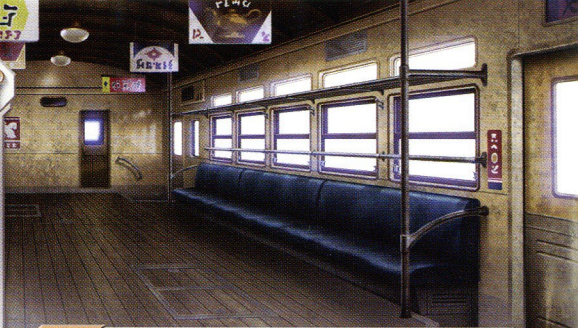
メタファルスで最も活躍しているのがカーゴ。貨物船である。様々な形や用途があり、港町であるラクシャクでは、カーゴの種類を見ているだけで1日飽きないくらい、様々なカーゴが発着している。重いものを運んでいるだけあって、動力源であるフリッパーロータリー（金色の円盤）は巨大であり、いくつも重なっている船が主流。

エアバス

パスタリアシティの中を飛び回っている小型の飛空挺。垂直離着陸が可能で狭いエアバスステーションでも離着陸が可能となっている。大鐘堂から下層居住地域まで、全域を網羅しているが、値段が若干高めな為、下層に住んでいる人は多用しない人が多い。

大鐘堂母船

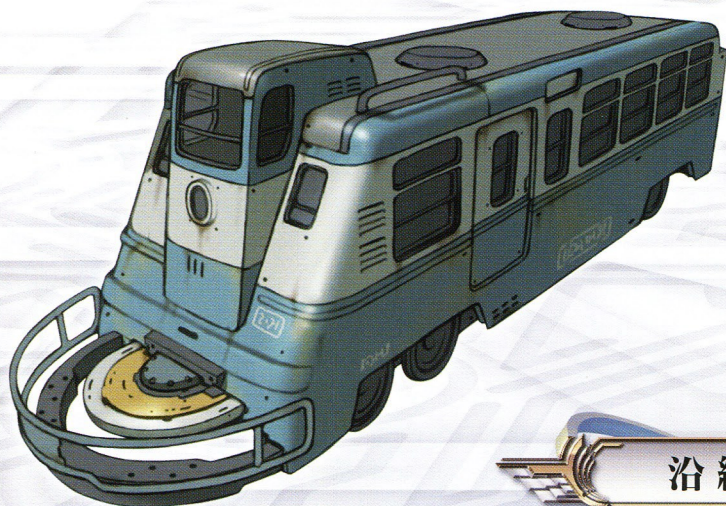
この世界の中で航行するには、パッセンジャー程度の性能があれば十分であるが、外の世界へ行きたいとなれば話は別である。大鐘堂母艦は、大鐘堂が技術の粋を集結して創りあげた、遠距離航行用の大型船である。中には多数の戦闘機や様々な物資を乗せる事が出来、さながら箱舟の様相を呈している。

戦闘機

高速飛行が可能な、1～2人乗り戦闘機。この世界では最低2人乗りが基本になっているが、その理由はレーヴァテイルと騎士との関係を重視しているからに他ならない。ボディは小さいがフリッパーロータリーはパッセンジャークラスの物を使っているため、高馬力。

スフレ軌道

スフレ軌道路線

路線は単線で、ミント区、エナ、ラクシャク駅他数カ所の待避線を用いて、上りと下りの待ち合わせを行う。エナから先、約束の丘までは完全な単線となっており、行ったら帰ってくるまで他の軌道車は入線できない。運行は、エナ～ラクシャク間が1時間に1～2本程度、ラクシャク～ミント区間が2時間に1本程度、エナ～約束の丘までが、1日に2本程度となっている。

スフレ軌道車両

スフレ軌道の車両は二両固定編成となっている。特徴的なのは、最前部にフリッパーロータリーをデカデカと搭載している部分だろう。普段飛空挺の浮遊機関として使われているフリッパーロータリーであるが、その推進力は浮力だけでなく、ある方向に対しての加速力として使うことが出来る。スフレ軌道は、そのような波動科学の技術を駆使した鉄道なのである。航行速度は時速20～30キロと非常に鈍足であるが、元々歩くこともままならない場所を運行している事もあり、誰も文句を言わずに利用している。

沿線案内

ミント区

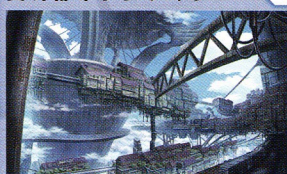
メタファリカの熱烈な信者達が、自分たちのメタファリカを作ろうと希望を抱き、この地を開拓した。見ての通り、結果は思わしくなかったが、この地の人々は今でも誰もがミント区を愛している。

みくりの森

ミント区に隣接する深い森。大地に根を張れないこの世界において、これほどまでに大きな木々の茂る森は他にない。伝説では、遠い昔のある日、何もないプレートの上に、一夜にしてこの森ができたと言われている。

よろづ屋

わずか3ストン(1ストン＝約3m)足らずの幅の場所に、一件だけぽつんと店と駅がある。何故ここに駅を作るに至ったかは不明だが、この駅と店のコンビは現在も健在で、乗降客もボチボチいる。ラクシャクでは廃屋だと思っている人もいるが、現役バリバリの雑貨屋である。

交易都市ラクシャク

リムで最大の都市。崩壊した大地の骨の上に築かれた街で、多層構造になっている。パスタリアへの唯一の玄関口で、それ故旅行客や商人で街は賑わう。スフレ軌道の車両基地もここにあり、実質リム側の中心都市となっている。

スフレ軌道の歴史

スフレ軌道は、15代目の御子であるスフレによって計画され、16代目でありスフレの娘でもあるラクーシャによって実際に敷設された。当時リムには殆ど交通が無く、また真ん中にはコンダクターアクティベーションがそびえ立ち、左右に分断していた。それ故、当時の人々にとってリムを渡り歩くことは、相当に骨が折れることだった。スフレ、ラクーシャは、リムの活性化と快適性の向上を掲げ、積極的に軌道敷設を訴えた。パスタリア中心の当時の政治では、リムに対しそれ程の莫大な予算を投下することは考えられず、大鐘堂内において多数の反発を買っていた。それでもこの2人の御子は、沢山の人々の幸せを願い、スフレ軌道敷設を実現させたのだ。そんな事もあり、スフレとラクーシャがリムの人々にとって、大変な人気を博していた事は言うまでもない。スフレとラクーシャは、それぞれスフレ軌道、ラクシャクの街という2つの名前に採用されている。ラクシャクの軌道広場に立つ像は、ラクーシャの石像である。

▲ラクシャク軌道広場

廃線区間

ミント区～カナカナ突堤間（ミント区～ゆめみ野～カナカナ突堤）は、今から数百年前に廃線とされた。廃線理由は、殆ど人が乗ることがない為に軌道車を通す意味がない、という事であった。

幻の軌道車？

ごく希にミント区の人が目撃すると言われている、幻の軌道車のうわさ話がある。何でも、半円形の形をしており、とても人が乗れそうにない物体が、線路を走っているのを見た、と言うのである。しかし、それを裏付けるものは何もなく、幽霊列車として人々の間で囁かれている。

約束の丘

巨大なレンズの麓でスフレ軌道は終点となる。たった一本の線路がそこで途切れ終点となるこの場所は、王家の墓である約束の丘が存在する。周りには何もなく、ここまで人が来ることは滅多にない。

猫屋敷

不気味な古びた洋館が一軒、荒野の中に立っている。昔は何かの研究所だったらしく、この一軒家と荒野の為に、駅が一つ存在している。猫屋敷から約束の丘までは、民間人は殆ど訪れることが無く、大鐘堂の施設が点在する地となっている。

古文化の街エナ

リムにおいて最も古い歴史を持つ街で、リムの行政の中心。神聖政府軍の本部もこの街にある。活気はあるが、非常にゴミゴミしていて人を選ぶ。この辺は地盤が安定しているため、大きな地震や崩落もなく、古い建物が数多く現存している。

むらくも桟橋

大変な高低差がある段々状の場所。また、その中央部は完全に切れており、実質リムはここで左右に分断されている。この辺りは霧がかかりやすく、また、下には雲海が間近に見えるため、この名前がつけられた。軌道車は、段々になっている部分を遠回りしながら徐々に昇っていくため、他の区間より時間がかかる。

用語辞典

I.P.D.
レーヴァテイルに感染する感染症として恐れられている。発症すると、詩魔法などを暴発し、周囲を巻き添えにしながら自分自身も身を滅ぼす。性質としては「陽性」と「陰性」の2種類がある。「陽性」は、とにかく詩魔法を暴発し、周囲を火の海にし、自分もその炎の巻き添えになり死亡する。「陰性」は、その場で高熱を出して倒れ、動かなくなる。しかし陰性の場合この瞬間半径数十ストンに及ぶ範囲でレーヴァテイルにI.P.D.を伝染するという厄介な状態になる。新たなI.P.D.を作り出すという点で、陰性の方がよりたちが悪いと言えよう。I.P.D.感染は、陰性発症の巻き添えを除けば、その殆どがレーヴァテイル質の開花と共に発症する。これはI.P.D.の自然発症と言われる症状で、遥か昔から存在する先天性のものである。I.P.D.の症状が発症した場合、大鐘堂の騎士隊に引き渡し、保護してもらう事が義務づけられている。これは、街の治安を護るためとして、仕方なくではあれ、国民全員が納得している事である。

インフェル・ピラ
今から約400年前に創られたという、今ではロストテクノロジーとなってしまった空に浮かぶ球体。何のために創られたかは定かではないが、とにかく大きな力を秘めている事は間違いない。400年前の戦争の傷跡が半壊という形で生々しく残っている。

詩魔法
レーヴァテイルが心の中で紡ぎ、それが具体化して発動するものを詩魔法という。広義での詩魔法とはヒュムノスも含まれるが、一般的には狭義で定義される、戦闘などで使われる攻撃魔法や回復魔法の事を指す。(狭義で言うところの)詩魔法は、レーヴァテイルが心の中に強烈な想いを宿すと、それが具現化し、詩魔法となる。現実世界でそれ程の強烈な想いや感情を紡ぐのは、相当なこと(肉親の死別などの衝撃的な何か)が無いと難しいが、それを簡単に行えるシステムとして「ダイブ」というものが用意されている。ダイブによってレーヴァテイルの精神世界に入り込み、その中で様々な未完了や心の傷を癒すことにより、現実世界で歌を紡ぐよりも遥かに簡単に詩を紡ぐことが出来るのである。

か

ゲロッゴ
メタ・ファルスの若い女性に大流行中の癒し系キャラ。カエルなのか熊のような動物なのか、その微妙にどちらとも見れるスレスレの行けてなさ感がたまらないとのこと。主に裕福なパスタリアで流行っている。この手の商品につきものの姉妹品企画も過去に何度かされており、それもゲロッゴリラ、ハゲロッゴなど、とんでもないネーミングのものである。また、売れればパチモンも多く出回る。その中でファンの心理を最も逆撫でしているのが「ゲロシゴ」と呼ばれているパチモンである。

ゲロッゴリラ
ゲロッゴの亜種で、同じメーカーが制作している正統なシリーズもの。しかし、シリーズ中で最もダサイと言われており、それを裏付けるようにライト層のゲロッゴファンは、見向きもしなかった。故に生産個数も非常に少なく、ゲロッゴマニアの中では最高に希少価値の高いアイテムとして語り継がれている。出たグッズは、歯ブラシ、手鏡、ヘアピンなど、なかなか微妙な取りそろえとなっている。

交易都市ラクシャク
300年ほど前に開拓された街。リムの崩落した場所に形成された街で、その崩落した部分に残る梁の上に家などを築いている。ラクシャクは「ラクーシャを讃える街」という意味がある。ラクーシャとは数百年ほど前の御子のことであるが、リムにスフレ軌道を開通させるという偉業を成し遂げた御子である。スフレ軌道のお陰で人々は、古都エナからラクシャクに移り住む事が出来、資材も運べた為に大きな町へと発展させることが出来た。街の中心「軌道広場」にある女性の像は、その御子ラクーシャの像である。現在は、その都市の特性上、空の便の係留停泊に大変適しているため、交易の要所として栄えている。

心の護
レーヴァテイルの心の中にいる意識体。普段、レーヴァテイル本人が気に入っているものや、思い入れの深いものなどが心の護になる。大抵は、小さい頃に大切にしていた人形や、思い出の品が擬人化したものになる。心の護は、その名の通り、レーヴァテイルの心の中で他人が暴れたりしないように監視している他、様々な手続きをこなしたり、ダイバーを安全に案内したりする役割がある。ただし、I.P.D.に感染すると、心の護が消えてしまうと言われており、実際にそれは確認されている。

コスモスフィア
レーヴァテイルの精神世界のこと。コスモ(小宇宙)スフィア(空間)でコスモスフィアである。ここには、レーヴァテイルの記憶、過去の傷、性格、性質、本性など様々なモノが入り交じって存在している。コスモスフィアには顕在意識から潜在意識まで、浅いところから深いところまでの階層が存在し、それぞれの階層にテーマが存在する。そのテーマは、レーヴァテイルごとに全く違うもので、そのレーヴァテイルにとって表面的な事象は浅い層、自分も意識していない深いものは深層に刻み込まれている。平均的なレーヴァテイルのコスモスフィアでは、浅い層に記憶、心の傷、表面的な性格などが有り、奥へ行くと自分もわからない無意識上の性質、本質などが存在している。

さ

C.V.
正式名称コンダクター・ヴィジョン。イコール「リム」のことである。まだ塔が創られていた時代、塔を生成するためのツールとして創られたもの。コンダクターとは指揮者の事であるが、まさにリムは、塔を創る上での統率者としての存在であった。絵で言えば画板に当たる機能を持つ。

神聖政府軍
アルフマンがクーデターを起こす前にあった、教皇を中心とする大鐘堂の体制を「善きもの」として活動する組織。元々は、一人の男が同士を連れて活動をはじめたものだが、現政府に反発する人達が彼の呼びかけに応え徐々に規模を大きくしていった。そしてその噂はこの世界中に広がり、ついには教皇の末裔と呼ばれる男タルガーナまで現れ、それによって神聖政府軍は大きく飛躍していく。当初は大鐘堂も、単なる地下活動としてしか認識していなかったが、教皇の血筋が現れたと知り、更に神の勢力が荷担したと知ると、無視は出来なくなってくる。そんな緊迫した状況の中で、例のラクシャク保養地襲撃事件が勃発するわけである。神聖政府軍は、タルガーナ皇太子を筆頭とする勢力ではあるが、実質的なトップはチェスターである。彼が色々と算段をし、大鐘堂を駆逐すべく暗躍する。神聖政府軍の目的は、大鐘堂の奪還であるが、それ以上に大切な目的も存在するようだ。

た

ダイキリティ
通称「延命剤」と呼ばれる青いクリスタル。レーヴァテイルはこれがないと、3ヶ月程度しか生きることが出来ない。これは、レーヴァテイルの性質が、人間の生命力を消費して生きている為である。ダイキリティはその生命力を代替し、レーヴァテイルを延命するのである。

大賢者ジャザ
第一紀と呼ばれる時代、この世界が大惨事によって大地を失った丁度その時代に生きていた賢者。そして、この地にパスタリアを築き、第一代目の教皇となった人である。ジャザという名前からは想像つかないかも知れないが、女性である。ジャザは様々な功績をこの世界に残したと言われている。メタファリカの初期理論を構築したのは彼女であると言われている。また、一度神の住まう天上へと向かったことがあるとも言われている。この世界において、ジャザは世界の母であり、この世界の誰もが尊敬する偉人なのである。

大鐘堂
この地メタ・ファルスを治める政府機関。歴史は700年余りであり、教皇と御子という2つの顔をトップに置く組織である。教皇は主に政治を、そして御子は神の声を聞く役割として、その最高の権力を有している。大鐘堂はこの地を安定させるために政治を行う事が役割ではあるが、民衆の総意としてメタファリカプロジェクトを推進する機関でもある。メタファリカを謳うためには神の力が必要である、という事が常識となっており、代々御子は神の声を聞きながら、メタファリカ実現の時を待ち続けてきていた。しかし、20年前にクーデターによってアルフマン政権が発足すると、すぐに体制を180度転換し、神との戦争を掲げるようになる。アルフマン政権は、神こそがメタファリカの実現を妨げる最大の原因とし、自らの手によってメタファリカを紡ぐことを宣言したのだ。数百年何の変化もなく、半ば諦めていた民衆にとって、この事件はセンセーショナルであった。それ故に、その政権の勃発が是か非かよりも、このだれきった世の中に投入された大きな刺激自体を、民衆は喜んで受け入れる結果となったのである。

ダイバーズセラピ
ダイブを応用し、レーヴァテイルが自らのコスモスフィアにダイバーを招き入れ、そこに仮想世界を創ることで夢の中の楽園で楽しませること。この世界では癒しの手段として、比較的古くから存在している技術。セラピストは自らのコスモスフィア内に見ず知らずの人を入れるため、自分の本当の精神世界とお客様を入れるサービス空間を隔てる為の訓練を行っている。それを行わないと、セラピストの予期しない災害が発生し、またセラピスト自身のプライバシーも殆ど無くなってしまう為である。セラピストは、サービス空間に入れたお客様を、プランに従う形で癒していく。そのプランは事前にレストラン等で打ち合わせをすることで行い、セラピストは最大限お客様の意に沿った世界を作り出す為の努力をする。セラピストはセラピスト協会に加盟する必要があり、それによってお客さんを斡旋してもらう。セラピストによって、コスモスフィア内でやれることが違うので、セラピスト協会のマネージャー(例えばラーおばさん)が、ニーズに答えられる人に分配していく形になる。例えばルカはいかがわしいことは一切しないが、ノノは多少ならOKという感じで、セラピストごとにポリシーも違うため、この協会のシステムはとても重要なものになっている。

ダイブ
レーヴァテイルの心の中(コスモスフィア)に入り込むこと。ダイブという行為自体はこの説明で終わりだが、ダイブをする目的はというと、様々なものが存在する。1つは強い詩魔法を手に入れること。ダイブをしている最中に、心の中に劇的な出来事が発生すると、レーヴァテイルは詩魔法を紡ぎ出す。これは、心の中の深いところで紡ぎ出した詩魔法ほど強い魔法として具現化するが、その為にはレーヴァテイルとダイバーとの関係が深くなっていかねばならず、必然的に二人の絆を強める必要が出てくる。故に、強い魔法には強い絆が必要なのだ。

チェロ月・ヴィオラ月
この世界に存在する二つの月。チェロ月が紫色の大きな月で、ヴィオラ月が金色の小さい月。チェロ月は、豊穣と母性の象徴と言われており、ヴィオラ月は革新と探求心と勇気の象徴と言われている。

Dセロファン
レーヴァテイルの遺伝子情報のシードが記録されているセロファン。オリジンやβ純血種と言われる、完全な人工生命体レーヴァテイルには必ず身体の中に入っている。このDセロファンがレーヴァテイルの性質に個性をつけるきっかけとなり、結果としてレーヴァテイルの個別識別情報「ヒュムネコード」を作り出す事になる。逆に言えば同じDセロファンをシードとして育ったレーヴァテイルは、同じヒュムネコードを持つことになる、という事になる。Dセロファンが受け持つ遺伝子情報は非常に少なく、それは容姿にまでは影響しない。生命の根幹のごく一部、精神基底周波数と呼ばれる部分にのみ影響する。精神基底周波数は、力の源である塔との結線に関する情報や、生命維持情報、力やアクセス権限といった、システムとしてのレーヴァテイルの情報を決定づけるものである。尚、Dセロファンを共有したレーヴァテイルは、同じアドレスに精神世界、コスモスフィアを持つことになる。その為、頻繁に競合を起こし、お互いの精神が錯乱したりひっくり返ったりする事がある。

D.V.
正式名称ドラフター・ヴィジョン。この世界の周りを回る、3つのリングの名称である。この3つのリングは遙か昔、まだこの塔が創られていた頃に活躍していた、塔生成の為のツールである。普段はゆっくりとリムの周りを回っている。3つのリングはそれぞれ独立している。

デュアリスノ結晶
グラスノ結晶を元に創られた、合成結晶。グラスノ結晶をレーヴァテイルにインストールする（延命剤のように直接身体に入れる）とレーヴァテイルがパワーアップする事はこの世界では周知の事実だが、大変な苦痛を伴う事もあり、積極的に成されることはなかった。しかし、レーヴァテイルを尊重する地域ならではとも言える、苦痛を伴わないパワーアップ方法を発見した人がいたのである。その時に発明されたのがこのデュアリスノ結晶。これは、波動荷浸透方式といわれる方法で、液体伝播によってインストールポイントにパワーアップのエネルギー（導体D波）が影響するものである。それ故、グラスノ結晶に比べ、デュアリスノ結晶は波束密度が極端に高い。これは、グラスノ結晶の特性である、一定の流量を超える波動エネルギーを放射する性質を使って液体伝播をさせているためである。尚、強力な歪め方をするデュアリスノ結晶は、激しく強力なドーピングが可能であるがそれ故大きな危険も伴う。その副作用の中でも最も危険なのが、デュアルストール中の過剰影響である。波動が強すぎて、本来変化させてはならない部分の導体D波までをも狂わせ、酷いときには死に至る。そうならないようにするには、波動荷の分散をするしかない。

導力エネルギー
この世界のエネルギー源とも言えるエネルギー。厳密には「導体D波」と言う。いわゆる「物質」を維持するためのエネルギーであり、物理的に様々な影響を与える。塔が動いているのも、テレモが使えるのも、必殺技も調合も、全部この導力エネルギーによって成されていると言っても過言ではない。それと対になるエネルギーとしてあげられるのが「生体エネルギー」であり、こちらは「導体H波」と呼ばれている。こちらは人間やレーヴァテイルの生命維持に大事なエネルギーであり、別名「想いの波動」と言われている。ヒュムノス詩は、この導体H波を導体D波に変換する事で、想いを力に変えるという事を行っているのである。

パスタリア
この地に人が住み着いたとき、一番最初に出来た街がこのパスタリア。塔を取り巻くように創られているため、人が増える度に縦に伸びることしか出来ず、縦に長い都市となっている。この自然のない世界でも、比較的水と緑に恵まれているのは、下にある鐘部に溜まっている雨水を常時揚水歯車によっててっぺんまで汲み上げているからである。この都市は、こうした人工的な水の循環によって、人が住める場所を構築している。それ以外にもパスタリアには、スパイラルと言われる市電やエアバスという飛空艇、また、余り使われないが、パスタリア縦貫昇降機といった、縦方向に強い様々な公共交通機関によって支えられている。

パスタリア昇降機
縦に長いパスタリアには、各エリアを繋ぐために「縦貫昇降機」というものが存在する。これは、大鐘堂の内側に存在する「テルミナ」というターミナルフロアをベースとして、パスタリア内部のあらゆる所にスムーズに移動できるように設計されている。昇降機には番号が振ってあり、壱番機から九番機まで存在する。その番号の若さが、歴史の古さと言っても過言ではない。

ヒュムネクリスタル
謳うことで力を発揮するヒュムノスという詩を記録しておくクリスタルの媒体。実際は、その詩のメロディや歌詞などが記録されているわけではなく、その歌の「想い」が記録されているだけである。ヒュムネクリスタルから詩を取り出す「ダウンロードの儀式」では、レーヴァテイルはこの「想い」を受け取る。そして、それを自らの感性で詩にするのだ。故に、同じヒュムネクリスタルをダウンロードしても、レーヴァテイル毎に紡ぎ出す詩は異なるという事になる。ヒュムネクリスタルは、ヒュムネコードというレーヴァテイルの識別子が無いとダウンロード出来ない。故に、普通の第三世代と言われているレーヴァテイルには、ヒュムネクリスタルからの想いはダウンロード出来ないのである。

ヒュムノス語
詩魔法を唱えるときに使う言語。この言葉が詩に力を与える源になる。通称「想いの言語」とも言われており、単語や言葉以上に、その謳い手の想いが相手のレーヴァテイルや、詩魔法の力の源である「塔」に伝わる。言葉を耳で聞くだけの普段の言葉とは、この辺に大きな違いがある。それ故、ヒュムノス語の単語には、1つの単語に様々な意味が秘められている。それは、その単語が具体的な何かを表すためのものではなく、謳っている者の想いを伝える為のものだからである。ヒュムノス語には、地域特性や歴史、文法の違いなどから多数の流派が存在する。その中でも「中央正純律」というものが世界の主流として存在する。しかし、このメタ・ファルスという地域では、それよりも「古メタファルス律」という独特の流派の方が主流となっている。

プロクシダイブ
レーヴァテイルのコスモスフィアの中に、仮想的にダイブマシンを設置し、それを使って更にダイブすること。現実から見たら「孫」に当たる世界を創り出す。プロクシダイブの利点は、孫世界で起こった全てのことを、その親世界（セラピストの世界）が完全にコントロールでき、孫世界を完全なる支配下に置くことが出来る、という所にある。プロクシダイブは、ダイバーズセラピの技能の一つだが、あまりに難しいため、出来る人はごくわずかである。これは、セラピストがダイブ屋並みのダイブ知識を有する必要があると共に、自らの精神世界の中に、一時的とはいえ作為的に精神改ざんが発生する為（仮想ダイブマシンは外的プログラムにより、精神の特定アドレスに強制配置される為）、それを拒絶してしまうセラピストも多いためである。

御子
この世界で最も尊い命と言われている大鐘堂の抱える女性。御子は「神の声」を聞くことが出来るため、神の存在が絶対であったこの世界において実質トップとも言える存在だった。御子の役割は様々だが、最も大きな目的は、詩によって理想郷メタファリカを創造すること、である。他の目的も、大方その理想郷創造に付随するものである。

メタファリカ伝説
遙か昔、第一紀と呼ばれていた頃から存在する理想郷伝説。謳うことで、桃源郷のような大地をこの世界に呼び出すことが出来、それによってメタ・ファルスの民が何に困ることなく平和に過ごせるようになる、という伝説である。それを実現する為に生み出されたのが、ヒュムノス『メタファリカ』なのである。このメタ・ファルスという地域ではもう何百年もそのメタファリカを夢見て頑張ってきている。この痩せた人工の大地しかない場所に住んでいるからこそ、その想いもまたひとしおなのだろう。

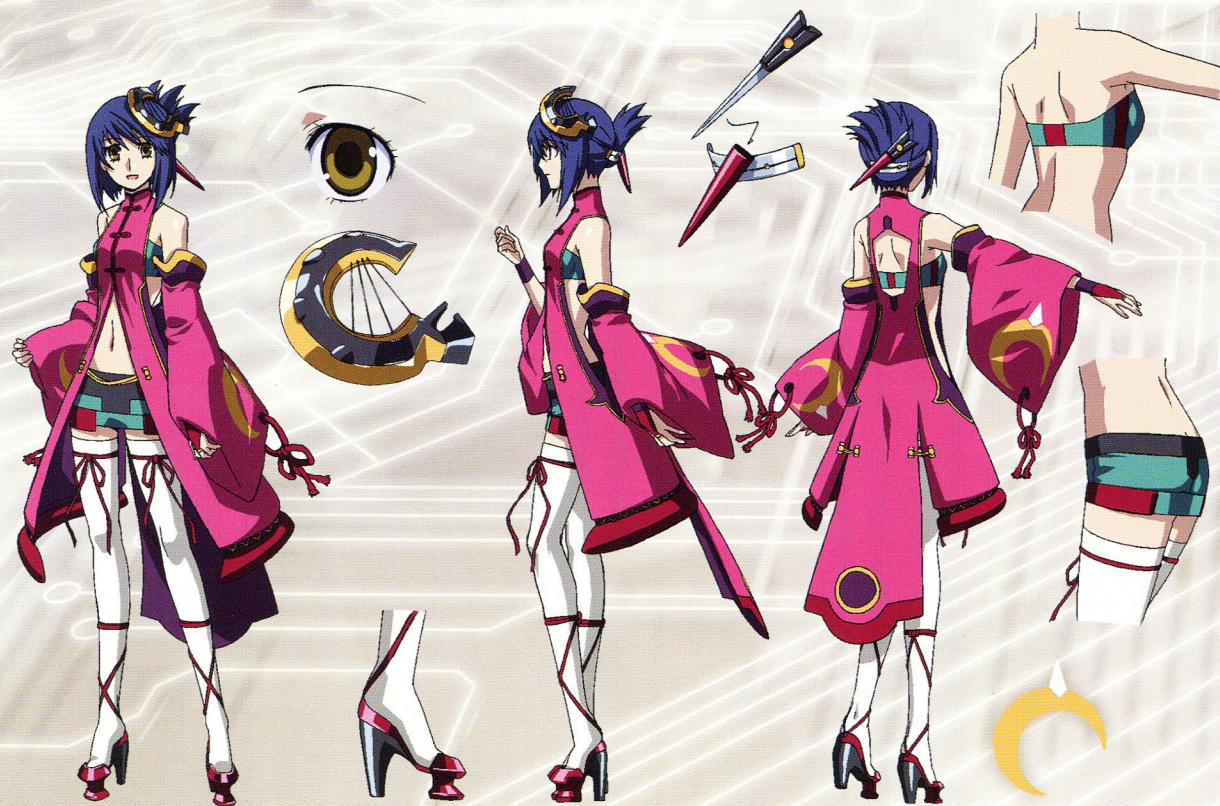
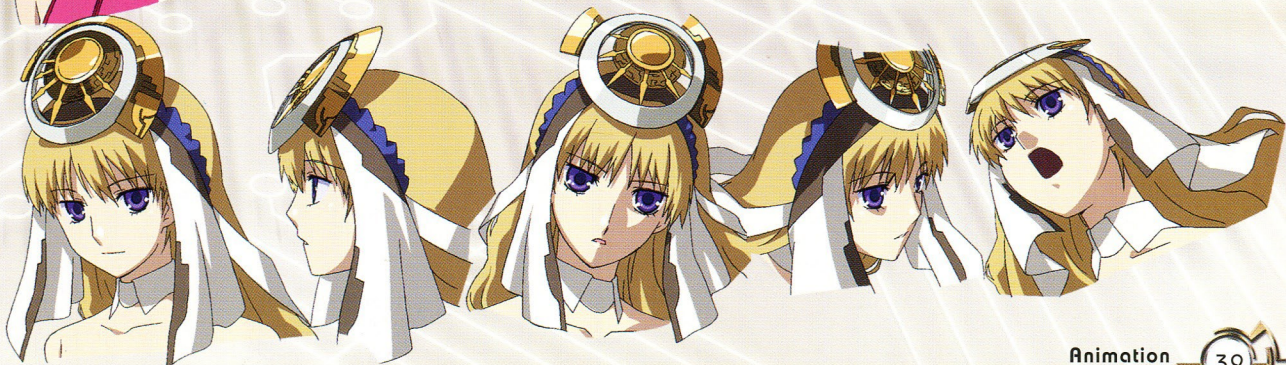
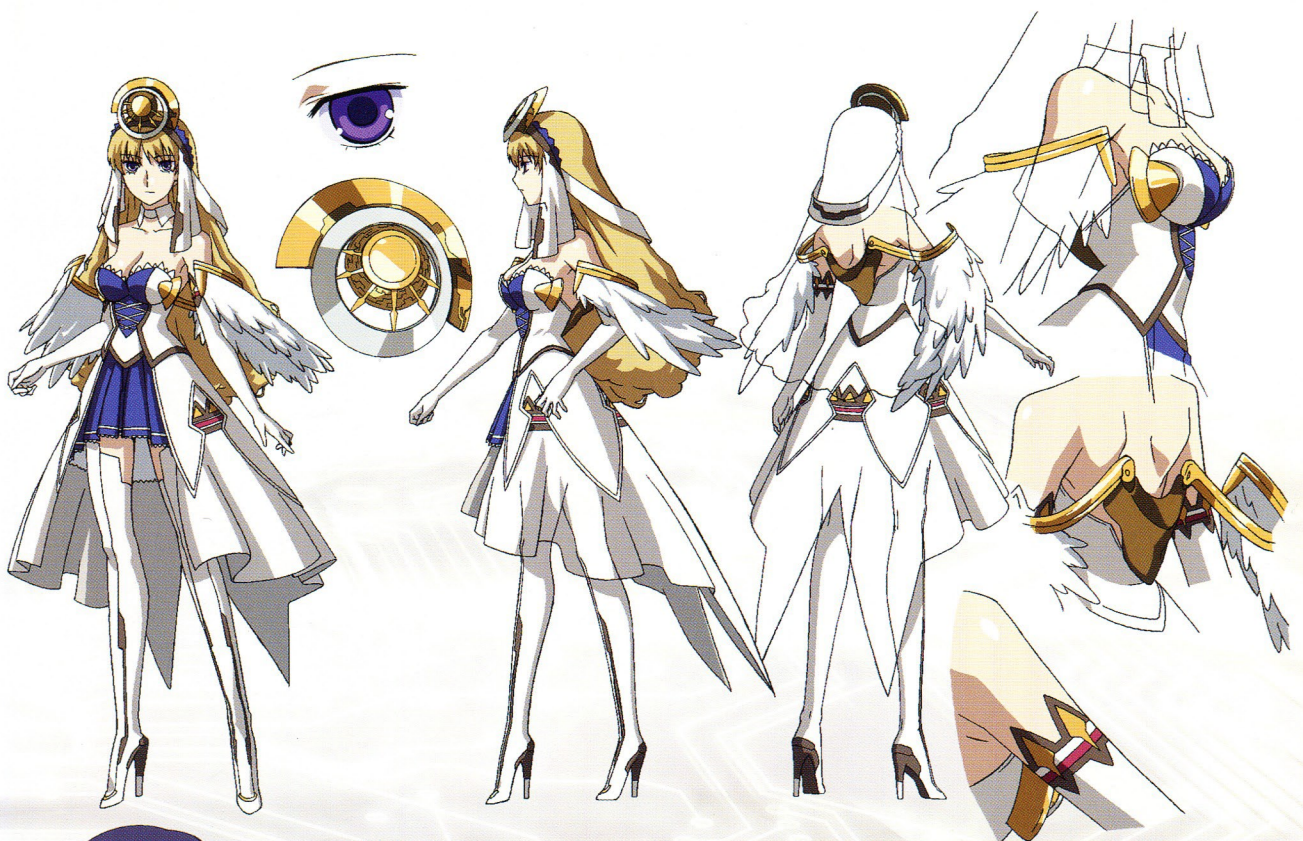
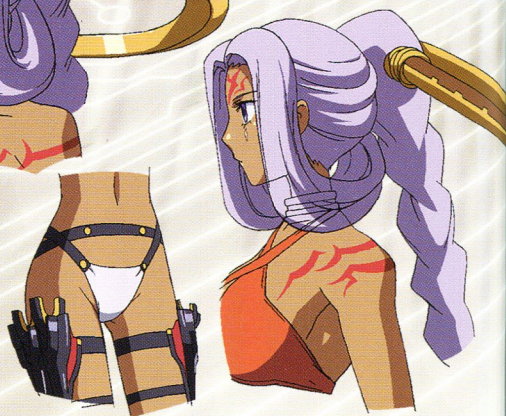
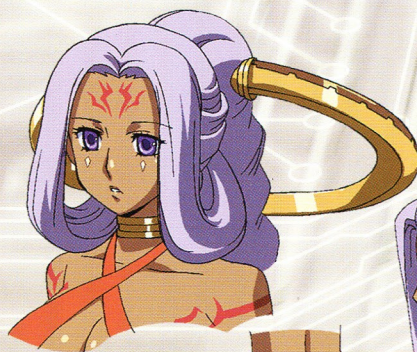
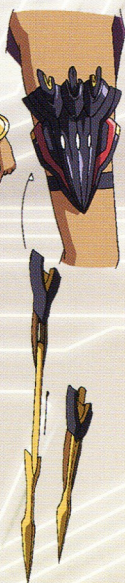
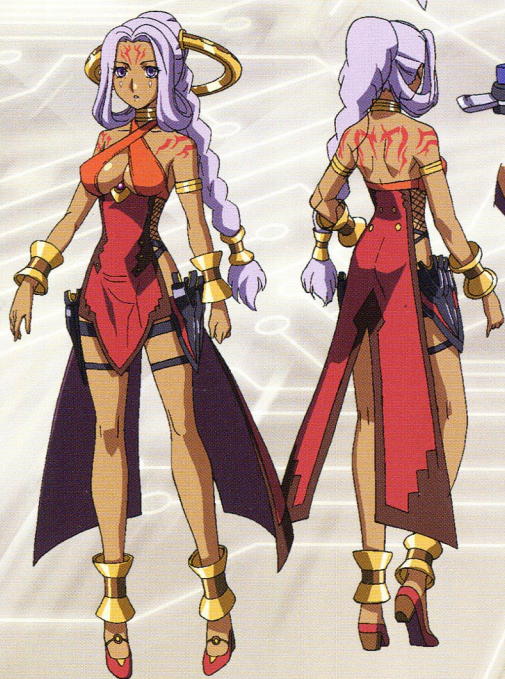
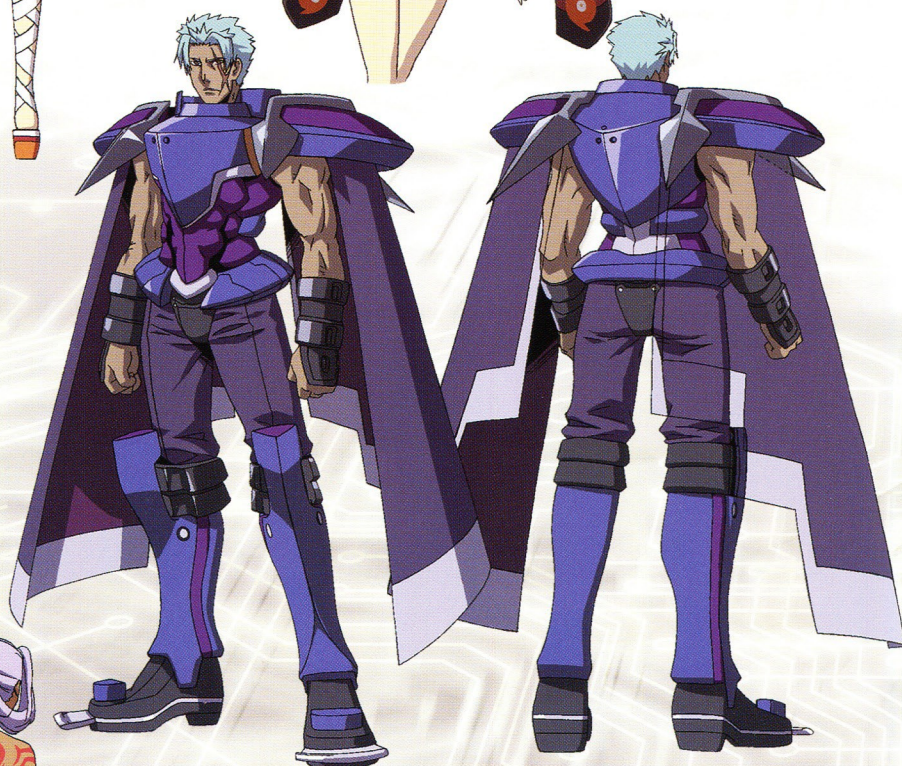
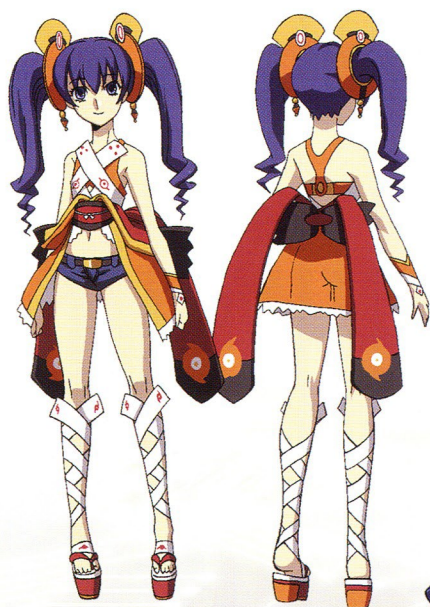
メタ・ファルス
メタ・ファルス地域。この呼び名は遙か700年以上昔に栄えていた第一紀と言われる文明の時代から呼ばれている、世界の一地域名である。当時、メタファルスには、世界に名だたる先進的な理想国家があったと言われている。この地域の人達は、その事を今でも伝承のように語り継ぎ、そしてささやかな誇りとして生きている。今では土の大地すら存在しない、人工的な大地の上に存在する地域の名称でしかない。

揚力ジェネレータ
この世界、主に「リム」と言われる重量級のシステムを浮遊させるために存在するメカニズム。全部で7基存在し、リムの7つのエリアをそれぞれ担当している。リムは、表面からは見えない7つの分割ブロックによって別々のパーツに分割されて管理されているが、その1つずつがこのジェネレータの対応範囲である。それぞれのジェネレータはそれぞれのエリアを維持するだけの力しか無く、1つ欠けてもこの世界全体の危機になる。その際は、連結器をパージしてそのエリアを開放すれば、他のエリアは助かる。

ら

リム
パスタリアの回りをぐるりと取り巻いている三日月状の大地の事を、総称して「リム」と呼ぶ。リムにはエナやラクシャクといった大都市が点在している他、コンダクターアクティベーションなどのロストテクノロジーも豊富。全体人口における割合も、パスタリアとリムとでは、リムの方が圧倒的に多い。これは、パスタリアが厳しい人口規制を行っているからである。人々は最初塔に住み始め、ある事件をきっかけに逃げた人達がリムに移り住んだとされている。それがいつの頃なのか、そしてその事件が何なのかは謎に包まれている。当時のリムには草木一本生えていなかったどころか、土すら無かった。それを考えれば、ここまで緑を育むのには相当な努力があったことをうかがい知る事ができる。

レーヴァテイル
謳うことによって、様々な超常的な力を発することが出来る種族。基本的に女性しか存在しない。見た目は人間と何も変わらないが、必ず身体のどこかにインストールポイントというタトゥが存在する。レーヴァテイルは、レーヴァテイルとして生まれてくるのではなく、人間として生まれてきて後にレーヴァテイルとして発症するという形になる。発症するか否かは本人が持つレーヴァテイル質の濃さや、偶然性など色々な要素があるが、基本的に先天的にレーヴァテイル質を持っていることが必須条件となる。レーヴァテイル質が発症すると、レーヴァテイル質が人間としての生命力を喰らい始めるため、何も処置無しでは3ヶ月程度しか生きられない。そこで、レーヴァテイルは3ヶ月に一度、延命剤というクリスタルをインストールポイントから入れてあげる必要がある。メタ・ファルスでは、レーヴァテイルという存在は比較的敬われている為（その理由は、メタファリカ伝説にはレーヴァテイルの存在が必須で、御子もレーヴァテイルである為）ダイキリティと言われる延命剤が、政府機関から支給される。こうして、レーヴァテイルになると生きていくことが困難になる代わりに、もの凄い力を行使する詩魔法を使えるようになるのである。蛇足ではあるが、ごくごく一部の、原初に創られしレーヴァテイルに限って言えば、延命剤無しで100年以上生きられるという。

※髪留めが
武器に
なります。

オープニングアニメ絵コンテ

page- 03 Ar tonelico II [Opening] CAIC Point Pictures

CUT	PICTURE	CONTENTS	DIALOGUE	TIME
07		クローシェの足元（水面） [じわりPAN]		
		別ウィンドウで クローシェの髪飾り （ハイライトキラリ） [PAN UP]		
08		クローシェ顔を上げる キラキラ（デジタル処理） [じわりPAN]		
09		一面の水面の上に立つ ルカとクローシェ [じわりTU] [OL]		
10		より 背合わせに立っている二人 [じわりTU]		

page- 04 Ar tonelico II [Opening] CAIC Point Pictures

CUT	PICTURE	CONTENTS	DIALOGUE	TIME
		曲に合わせて広がる波紋（デジタル）		
11		唄っているルカ 上空にインフェル・ピラが 太陽の逆光で見える キラキラ、文字 オシロスコープ等（デジタル） [PAN] [OL]		
12		唄っているルカのアップ キラキラ、文字 オシロスコープ等（デジタル） [PAN]		
		光に包まれる （デジタル）		
13		二人の後ろに真っ白な木が生えてくる 水面には波紋が広がる 文字等デジタル		

page- 11 Ar tonelico II [Opening] CAIC Point Pictures

CUT	PICTURE	CONTENTS	DIALOGUE	TIME
32		文字とデザインの中の インフェル・ピラのシルエット		
33		見上げている二人 舞う光の羽 [じわりTB]		
34		筆タッチの中のパスタリア 浮かぶ二つの月		
35		滝の前の崖の上に立つクロア [PAN]		
36		飛んでいく鳥の群れ 流れる光る羽 二つの月		

page- 12 Ar tonelico II [Opening] CAIC Point Pictures

CUT	PICTURE	CONTENTS	DIALOGUE	TIME
37		手を合わせて唄う二人 それぞれの体は曲のレベルに合わせて レベルゲージのようになる またそれぞれにSL バックは光るオシロスコープ テキスト、オシロスコープなど デジタルで		
38		滝の前に佇むクロア		
		どこからか羽が飛んできて 気付く		
39		逆光のソル・マルタ		
40		唄う二人 それぞれSL 二人の重なる部分あたり ハーフトーンになっていて 曲に合わせた模様が リズムを取る バックはオシロスコープ		

Illustration by 八雲剣豪

謳う丘 ～Harmonics FRELIA～

Wee ki ra ene rre sor hymme ar ciel en, rre hymmnos ee powel,
Was yea ra hymme dilete yor enter ar ciel yehar..

ya ya diviega, ya ya ya ya ya enclone sor en, rre hymmnos ee powel

蒼く流(る)る水煌(すいこう)に澪の糸を牽き
広い広い海の果てに君を見つけに往く
紅い血滾(たぎ)りこころ焦がす焔気(ほむらぎ)の
唇の雫掬い取り魂(たま)熔け結ふ為に

日の光降り注ぐ空を翔けよ共に
Ah～ 月の輝石の海よ艫に
愛の比翼を羽ばたかせ
波を奏で帆羽ばたかせ

天上(あまかみ)を駆け舞う絆の旋律(メロディ)　それは
firle faf jyel enerel... irs jam mea? yor yehar jyel.
irs jam in feriare yor yehar jyel fusya

耀ける受胎の子を結ふ血潮の賛歌
耀ける受胎の母と血潮の賛歌

Rrha yea ra rinc en echrra yor, rre walasye jyel gotiee ya,
Forgandal ar dius near grandus meader dilete

Ah～ 囁き重ね織りなす和　　一つの宇宙(うつみ)観になる
Ah～ 囁き重ね織りなす君と　一つの宇宙(うつみ)観になる

深く絡む糸は忘れ難きヒトの詩
深く絡む遺伝子はAh～ 絆のヒトの詩

Wee yea ra hymme hymmnos harmon en syast et wi powel.
Was yea ra enne en crushue gyen METAFALICA ee sosar.

Wee yea ra hymme spiritum...

貴方のことをもっと知りたくなったら、私は何をしたらいいのだろう
広い広い海のように、ただ貴方を受け入れること、それをしたらいいのかな

貴方を知りたい気持ち、それは私が貴方と融け合い重なり合いたい気持ち
唇にそっと触れ、その雫を口に含んだとき、言葉では表せない「貴方」を感じる事ができた

手と手を取り合って（足並み揃えて）二人で踏むステップ（紡ぐリズム）
その調べは私と貴方に比翼の翼を纏わせ、どこまでもどこまでも昇っていく力を授ける

奏でる貴方と私のメロディ、それは…

まるでお腹にいる赤子が聴く、母親の囁きのよう
リズムも波長も、旋律もノイズも、全てが1つになり、心地よい愛に包まれる

1つ1つ織りなすように、海の深さより更に深きまで絡み合う遺伝子
互いを分かち合い、慈しみ、そして受け入れること、それが絆のメロディ

Wee ki ra ene rre sor hymme ar ciel
（この世界は詩によって紡がれている）
en, rre hymmnos ee powel.
（この世界では詩は力なのだ）
Was yea ra hymme dilete yor enter ar ciel yehar.
（だから、この世界に入り込む貴方達にも、大いなる詩の加護があらんことを）
diviega
（偉大なる叡智で）
enclone sor
（それを包み込んで）
en, rre hymmnos ee powel
（この世界では詩は力なのだ）

firle faf jyel enerel... irs jam mea? yor yehar jyel..
（ここはどこ？私は一人、だれか…誰かいる？ねえ、だれか…）
irs jam inferiare yor yehar jyel fusya..
（一人じゃないよ？ここにいるよ。だから安心して！）

Rrha yea ra rinc en echrra yor,
（繋がれる喜び、共にいる喜び）
rre walasye jyel got ieeya
（人は皆寂しい、そして求めている）
Forgandal ar dius near
（なぜならば、元々は１つだったから）
grandus mea der dilete
（全てが等しい愛に護られていたから）

Wee yea ra hymme hymmnos harmon
（皆が重なれるメロディを奏でたい）
en syast et wi powel
（その力は、途方もなく大きなものとなるから）
Was yea ra enne en crushue
（幸せの想い、全員が願い紡げば）
gyen METAFALICA ee sosar
（そこには計り知れない理想郷が生まれる）

アルトネリコ2の
キャラクターデザインを
担当した凪良です。

今作2作目は前作の
デザインを継承しつつ
違った角度から
アプローチしてみました。

ファンタジーRPGにそぐわない
ヘンテコ面白な武器や衣装を
楽しんでもらえれば
幸いです。

もちろんヒロイン達の
過激？な衣替えも(笑)

あと1作目にくらべると絵柄が
少し変わったけど、シリーズと共に
私も成長していければと
思っています。

これからもよろしく
お願いします。

凪良

IMPRINT

素材協力：株式会社ガスト

キャラクターデザイン＆イラストレーション
キャラクターSDデザイン：凪良

キャラクターSDイラストレーション：八雲 剣豪

ワールドデザイン＆背景デザイン：松本 秀幸

アニメーション画像：株式会社ポイント・ピクチャーズ

プロデューサー：河内 厚典（バンプレスト）・深澤 智和（バンプレスト）

ディレクター：土屋 暁（ガスト）

企画・編集：竹原 朋子（バンプレスト）

製作：BANPRESTO 株式会社バンプレスト

¡YEzEtYA...
lAnEcEaA wAwYA¡EnYEc syec sphilar...
cEzE yor li yanje!
tYErEmN...
lYAnYEcYEaA wLYA¡YEnLYEc ar ciel, ar ciel, omnis,
hYEmEmArYE...et!
ar foul ciel
Haaa tie yor ini
en nha parge yor ar foul ciel
jy ra cc ci ce je xa
jy ra cc ci ce je xa rcc
jy ra cc ar foul
Yee hhh re sss Yee ttt we sss vvi
Yee hhh re ar foul ciel
yyya jjje ZZZa tte ggi

Wee ki ra ene rre sor hymme ar ciel en, rre hymmnos ee powel,
Was yea ra hymme dilete yor enter ar ciel yehar...
ya ya diviega, ya ya ya ya ya enclone sor en, rre hymmnos ee powel
firle faf jyel enerel... irs jam mea? yor yehar jyel.
irs jam in feriare yor yehar jyel fusya
Rrha yea ra rinc en echrra yor, rre walasye jyel gotiee ya,
Forgandal ar dius near grandus meader dilete
Wee yea ra hymme hymmnos harmon en syast et wi powel.
Was yea ra enne en crushue gyen METAFALICA ee sosar.
Wee yea ra hymme spiritum...